臺灣日日新報

本日八頁

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

實業之日本 新年特大號

何事も此の力

別冊附錄 モダン話題讀本

モダンのは話題の多い人！一九三六年度の今日の話題を集錄した一大常識寶庫

明治大正昭和 力の人を語る座談會

語るは各界第一人者！司會は增田本社長！話題に上る力の人卅餘人（出席者）
伊藤道海・磯村豐太郎・入澤達吉・堀內文次郎・小笠原長生・加藤政之助・賴母木桂吉・矢野恒太・藤原銀次郎・水野錬太郎

人生は力の爭ひか（社長 增田義一）
◎知識と信念の力…後藤文夫
◎力の使用法…德富猪一郎
◎青年の此の力…菊本直次郎
◎我民族の潛在力…加藤寬治

私の力は何處から出るか ・日產社長 鮎川義介・日本電工社長 森矗昶

人の力
◎力の政治家ベスト・テン
◎力の財界人ベスト・テン
◎力の官界人ベスト・テン

此の力を說く
・伊藤道海 ・本間俊平 ・松崎半三郎 ・松村介石 ・加藤咄堂

智力体力の源泉涵養法
全國醫大五十博士執筆
◎古今東西精力增進術 醫學博士 式場隆三郎
◎精力の出どこ 醫學博士 杉田直樹
◎千年生れ名士番附

九十翁益田孝氏に物を聽く會

地方富豪物語

新版金儲け太閤記 谷孫六

◎肺病と戰ひ瀕死の會社を更生（日本製紙社長 石川正作氏傳）
◎廿代卅代で一家をなした人々（學者と實業家六人を擧げる）

修正資本主義と統制經濟（男爵 郷誠之助）

◎昭和十一年の財界
◎本格的景氣の到來

春高景氣は來るか これから買つて見たい株（七名士）

◎昭和十一年景氣確實大會
◎新年素人投資の新原則

◎今年中に 五百圓殖す貯蓄プラン
◎今年中に 一千圓殖す貯蓄プラン

各方面五十二名氏回答
私の新婚旅行
自分の家を持った時

◎瘦せた人が長生か 肥つた人が長生か
◎虛弱を治す造血器ホルモンの新發見
◎素人將棋上達法

新年附錄 オール財閥富豪親戚系統一覽表

▼次の內閣は誰れのものか ▼陸軍の中心人物
▼次の財界大御所は誰れか ▼世界兵力はどこが强い
▼重臣ブロックの實勢力 ▼未來の兵器はどうなる
▼世界の武器會社の儲け高 ▼現代科學の尖端
▼現代國際スパイ戰を語る ▼世界一の金持は誰
▼日本はオリンピックで勝つか ▼日本一の金持は誰
▼三井三菱の總理は誰か ▼海底の富はどの位か
▼お賽錢はどこが多いか

現代人氣者一百人

此外六十餘項

定價六十錢 東京 實業之日本社

國際評論 新春擴大號

支那の幣制改革に就て……法學博士 木村增太郎
第六十八議會前奏曲……高山金一
潛水艦を去勢せんとする英米の魂膽……阿部信次
歐洲國家を操る軍需工業資本の魔手……宇都宮祥
伊太利非常時財政の前途……小田忠夫
列國軍備擴張の趨勢……增田豐彥
支那に於ける列强の角逐……尾崎秀實
ソヴィエット外交の回顧と展望……多田照夫
英國對外政策强化と其動向……鈴木東民
米國の景氣動向を見る……熊田克郎
ソヴィエット農業の集團化と機械化……金田直彥
滿ソ國境に旅して……茂森唯士
デトロイトの怪傑カフリン……南澤四郎
舞臺に現はれた宋哲元……夏本草二
中國紅軍西遷秘史……村田孜郎

發行 日本外事協會 東京市麴町區內幸町一ノ三大阪ビル 振替東京一九五五

外交時報 新春倍大號

世界再分割論の建設的批判……東大教授 蠟山政道
歐洲平和の將來と國際展望……法學博士 松田道一
米國の第二世界問題……日本大教授 松井七郎
國際平和確立の新基調……公爵 近衛文麿
海洋自由と軍縮問題……法學博士 立作太郎
軍縮會議と日本の對策……久保木大洋
國際情勢推移と帝國海軍……海軍中佐 大石堅志郎
軍縮決裂と其の覺悟……法學博士 松波仁一郎
支那の崩解を救ふは聯省自治……松本鎗吉
北支那自治と其の發展性……文學博士 矢野仁一
支那に於ける勢力範圍撤廢問題……岸田英治
北支那問題の實物教訓……半澤玉城
英國總選擧の經濟的觀察……鈴木憲久
ブロック經濟と世界貿易……猪谷善一
動搖繰返へす佛國政治經濟……美濃部亮吉
變革過程にある英國經濟……園地與四松
比律賓獨立問題の考察……法學博士 高木八尺
伊太利獨裁運動の研究……新明正道
最近の歐洲と愛西亞問題……花岡止郎
伊太利の主張の合理性……法學博士 泉哲
西南亞細亞を一巡して……松島肇
交通政策を確立せよ……增崎敏雄
最近の米國の對支態度……田中香苗
上海共同租界と日英の爭論……植田捷雄

外交時報社

ユニオンビール
大日本麥酒株式會社
サッポロ
黑ビール
冬向きの

御贈答にこの化粧箱

半打入・一打入
各酒店及食料品店にあり

エビス・サッポロ・アサヒ・ユニオンビール醸造元 宮內省御用達 大日本麥酒株式會社

GLYCO
グリコ
榮養
菓子

一粒三百メートル

グリコには榮養素六種含まれてゐますから お子樣方のおやつにはこれが一番です。

五錢・十錢

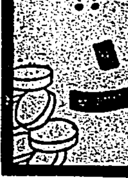
東京・大阪 グリコ株式會社

東京市小石川區江戶川町壹 電話小石川(85)四六八

鈴江特許法律事務所

臺灣の各位には御便宜を圖ります

所主・東京市會議員・辨理士 鈴江近太郎



胃腸の強化!!

バンドマン

强くて明るい ナショナルランプ

濕布に優る

エキホス

感冒・肺炎
肋膜炎・咽喉痛

濕布劑撰擇に就て御注意

近時巴布劑なるもの數拾種の多數あれども、國產製品として最も永き經驗を有するエキホスは濕布劑としての一般作用の外次の特徵を有し、各方面に推奬せられつゝあり。
一、含有各藥物は最優良品を使用し安全を期し得。
一、藥物の含量は常に正確なれば、吸濕性並に粘着性强く、且つ長時間保溫作用を有す

有名藥店には必ずエキホスの御品有

發賣元 武田長兵衞商店 鹽野義商店
製造元 二巴合名會社 大阪市東區道修町

EXSO

大阪商船 臺灣出帆

近海郵船 基隆出帆

辰馬汽船 出帆
桃栄丸 十二月下旬

大連汽船 基隆出帆
大連直行 山東丸 十二月六日 山西丸 一月十七日 代理店 山下組

漂著死體公告

本籍、住所、氏名、年齡、性別不明 男 身長五尺五寸位……

タンセキに 呼吸器散

セキは一回毎に疲勞し、病弱者は急激に衰弱します

本劑は鎭咳・祛痰・鎭痛・解熱……喘息・百日ぜきに殊に好適

●定價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 各藥店にあり

づつうにすぐ効く はれやか

大五〇〇錢
小二五〇錢
全國有名藥店にあり

K.107

育兒粉乳 キノミール

何度を測つてみても キノミール育ちの赤さんは みんな丸々よく肥えて 無心に眠つて居られたよ（サンタ・クロース老）

會葬御禮 中島

玉突台 世界的 東京市 鈴木商店 只今特賣中

大日本製糖會社

第八拾回決算報告

基隆博愛團

催告

登記公告

臺北地方法院

政府或勝利

巴里二十七日電。法國下院。有首相外交演說。豫定二十八日。決議意紛紛

正式公表

決定移轉

羅東街役場。豫算編成上考慮中問題。其後羅東小學校之移轉。該小學現在

督府の明年度豫算 一億三千三百六十萬圓

特別會計創設以來の最高記録

二十八日大藏省議で決定

臺灣總督府十一年度豫算案は廿八日夕大藏省議にて次の如く決定せる旨二十九日財務局より發表した、豫算總額は一億三千三百五十九萬二千百十九圓にして、從來の最高記録たりし十年度より更に一千二百四十五萬六千圓多く元より特別會計創設以來のレコードである、新規事業は多岐多樣に約二千五百萬圓に及び大藏省の査定で削除されたものは殆どないといふ好成績である、歲出膨脹に對する財源は、前年の如く公債金繰入なく自然增收と剩餘金繰入れに依つてゐるが、後者が一千二百萬圓の巨額に及んでゐることも注目に値する（單位圓）

歲入

	昭和十一年度豫算額	昭和十年度豫算額	比較增△減
經常部	一一七、四三九、九五八圓	一〇七、六六一、二九一圓	九、七七八、六六七圓
臨時部	一六、一五二、一六一	一二、四七四、七九〇	三、六七七、三七一
內普通歲入	四、一八三、二二七	三、一八六、六六八	九九六、五五九
前年度剩餘金繰入	一一、九六八、九三四	九、二八八、一二二	二、六八〇、八一二
計	一三三、五九二、一一九	一二〇、一三六、〇八一	一三、四五六、〇三八

歲出

	昭和十一年度豫算額	昭和十年度豫算額	比較增△減
經常部	九八、四七八、〇四三	九二、五七七、〇五一	五、九〇〇、九九二
臨時部	三五、一一四、〇七六	二七、五五九、〇三〇	七、五五五、〇四六
計	一三三、五九二、一一九	一二〇、一三六、〇八一	一三、四五六、〇三八

（二、新規計上額說明）昭和十年度豫算に對し當然增加するもの及び當然減少するものを差引計算する時は昭和十一年度豫算總額一〇八、四九六、三四六圓となる故に即ち豫算總額より此の豫算額を差引きたる殘額二五、〇九五、七七三圓は昭和十一年度における新規事業費として計上せられたるものとす

主な新規事業

教育及教化に關する經費

一、臺灣神社社殿改修並境內擴張準備に要する經費	三〇、〇〇〇
二、臺北帝國大學醫學部開講に要する經費	二二九、八三六
三、臺北高等商業學校貿易專修科新設に要する經費	二二、三七六
四、直轄學校教練振作に要する經費	一七、二八三
五、國民精神文化研究所敎員派遣に要する經費	一、二二〇
六、花蓮港中學校新設に要する經費	二六、五四八
七、臺北第二商業學校新設に要する經費	一一、〇三九
八、國民體育及娛樂補助の增額に要する經費	一〇一、七九〇
九、初等教育補助の增額に要する經費	二〇、〇〇〇
一〇、青年訓練所補助の增額に要する經費	七、九三二
一一、敎化事業指導者講習に要する經費	八、八四二

衛生に關する經費

一、結核豫防法施行に伴ふ經費	一、二七五
二、臺中醫院新營に要する經費（總額九六三、五八二圓三ケ年繼續事業）	三二一、一九四
三、癩豫防施設に要する經費	五三、四五四

法務に關する經費

一、祭祀公業調査に要する經費	一九、五五八

財務に關する經費

一、信託業法施行に伴ふ經費	三、七二一
二、國債償還資金繰入額の增額に要する經費	一、〇〇二、六六四
三、一般會計繰入に要する經費	一、九〇〇、〇〇〇

林野に關する經費

一、森林施業案實施に要する經費	二四一、五八六
二、治水造林及山地砂防に要する經費	七二、六二二

勸業に關する經費

一、山地開發調査に要する經費	九九、二五〇
二、移民獎勵費の增額に要する經費	二六六、一八三
三、畜馬施設に要する經費	六三、九七九
四、鑛務課長設置に要する經費	四、一二七
五、油田開發補助の增額に要する經費	一八五、〇〇〇
六、石油保有補償に要する經費	四五、九三五
七、米穀自治管理に要する經費	一、二三五、三一八
八、特殊農作物指導獎勵に要する經費	三四三、一五一
九、米穀長期貯藏試驗補助に要する經費	五一、九六七
一〇、商工會議所指導監督に要する經費	三、四二五
一一、臺灣物產紹介所新設に要する經費	三六、八〇七
一二、特殊工業助成に要する經費	三〇、〇〇〇
一三、水產講習所新設に要する經費	一五五、一八〇
一四、水產指導獎勵費の增額に要する經費	一〇七、六五〇
一五、漁業組合指導監督に要する經費	三、五五五
一六、漁港修築費補助に要する經費	六一、八五〇
一七、臺灣拓殖株式會社創設に要する經費	九二、二五四
一八、臺灣在來樹種造林間伐試驗に要する經費	一〇、五〇六
一九、活性炭素製造試驗に要する經費	八、五〇六
二〇、高雄州港務部試驗施設施行に要する經費	四、三三〇

鐵道事業に關する經費

一、鐵道事業增進に伴ふ經費	一、〇一一、六四二
二、鐵道改良に要する經費（總額一〇、四三二、一六〇圓三ケ年繼續事業）	三、六〇四、七二〇
三、自動車運輸事業創始に要する經費	七五六、五九四
四、私設鐵道補助に要する經費	六九、三三四
五、自動車交通事業法實施に伴ふ經費	六、三六〇

遞信事業に關する經費

一、無線電信電話施設に要する經費	三二九、二二八
二、航空事業に要する經費（總額五二七、四四五圓二ケ年繼續事業）	五一二、八一九
（1）島內航空輸送補助に要する經費	六〇、〇〇〇
（2）臺北福岡間航空輸送補助に要する經費	九六、〇〇〇
（3）飛行場整備に要する經費	一三〇、〇〇〇
（4）內臺間航空郵便實施に要する經費	一四、二一三
（5）航空無線標識局新設に要する經費	一九七、七二七
（6）臺北觀測所大屯出張所航空氣象觀測設備に要する經費	一〇、四五〇
（7）航空事務整理に要する經費	四、四二九
三、發電水力調査に要する經費（總額一三三、一一〇圓五ケ年繼續事業）	四五、二九六
四、航海獎勵補助に要する經費	一、四四一、五〇〇

專賣事業に關する經費

一、粉碎鹽製造に要する經費	二八〇、五七一
二、黃色種葉煙草耕作面積擴張に要する經費	五〇、一九七
三、兩切煙草製造工場新營に要する經費	二六、七六一
四、專賣事業の增進に伴ふ經費（總額二、六〇九、八二七圓四ケ年繼續事業）	二、三四八、二二八

土木に關する經費

一、頭前溪改修工事に要する經費（總額四、七八〇、六二三圓八ケ年繼續事業）	二八九、九四九
二、臨港線附近圳路付替工事に要する經費（總額七一二、九九九圓三ケ年繼續事業）	一七二、五四一
三、船渠事業調査に要する經費	一〇、〇〇〇
四、新店礁溪間道路新設に要する經費（總額一、五〇七、〇〇〇圓五ケ年繼續事業）	三〇一、二六〇
五、市區改正工事費補助に要する經費	二七九、六八九
六、北斗苗栗竹東水道工事費補助に要する經費	五六、四〇八
七、都市計畫法施行に伴ふ經費	八五、四一五

震災善後施設に關する經費

一、新竹地震觀測所新設に要する經費	三五、五〇八
二、鐵道線路其他震災復舊に要する經費（總額一、五三四、八五二圓二ケ年繼續事業）	一、二六七、四二六
三、震災借入金利子補給に要する經費	三五、六九〇
四、震災地方復舊費補助に要する經費	五七、〇三二

雜件

一、臺灣地方自治協會事業助成に要する經費	一〇、〇〇〇
二、中央研究所有用菌類保存設備に要する經費	七、〇〇〇

樺山初代總督の銅像 きのふ除幕式を擧行

文武官民が多數參列し

令孫樺山丑二氏の手で除幕

樺山初代總督銅像除幕式

（上右）令孫に依つて除幕されたところ（上左）式辭を朗讀する小濱長官代理（中）參列の名士（下）前列向つて右から中川總督、柳川軍司令官、和田馬公要港部司令官、福田守備隊司令官、野口知事、保田臺銀頭取、河村本社長の諸氏

官民有力者の發起のもとに昨[illegible]府前廣場に建設を急いでゐた初代總督樺山資紀伯の銅像除幕式は二十九日午前十時から同所に於て盛大に擧行された、中川總督、柳川軍司令官、和田馬公要港部司令官、福田守備隊司令官、幣原臺大總長、保田臺銀頭取、河村本社長、[illegible]等諸氏の外、文武官民及び除幕式の爲めに來臺した樺山伯の令孫樺山丑二の諸氏が列席、石井地方課長の開式の辭、修祓、樺山丑二氏の除幕、降神、獻饌、井手技師の工事報告、建築委員代表小濱長官代理の式辭、總督、軍司令官、馬公要港部司令官、文官總代幣原臺大總長、武官總代福田中將、民間總代保田臺銀頭取の各祝辭、祝電披露、小濱長官代理、樺山丑二氏、總督、軍司令官、臺北州知事、河村本社長の各玉串奉奠、撤饌、昇神ありて午前十一時過ぎ閉式した

式辭

前の臺灣總督海軍大將樺山資紀伯の銅像成り茲に本日を以て其除幕式を擧行するに當り一言式辭を述ぶるは余の光榮とする所なり、伯は夙に英邁の資を以て鹿兒島に生れ維新の風雲に際會し少壯にして身を軍籍に投じ明治の初め我が琉球藩民遭難の事あるや率先して之が問罪の師を起さんことを企て單身海を航して深く蕃疆に入り、西鄕都督を助けて艱難到苦克く其目的を達成し尋いで明治二十八年領臺の初めに當り擢んでられて臺灣總督の印綬を帶び兵馬倥偬の際早く本島百年の大計を立て以て現代文化の基礎を定めたるは洵に後生をして長へに畏敬せしむるに足るものあり、然るに從來伯が勳蹟を顯はすべき事業としては蘇澳郡界にかける記念碑と芝蘭[illegible]頭に於ける銅像とが僅かに一部有志の手に依りて建設せられたるものあるに過ぎず、今や政隸方に四十年島民殷賑して泰平の恩波に浴するを得るに至りたるもの固より聖恩の渥きに由ると雖も亦伯が開發第一の礎石を不動の安定に置かれたる餘勳に倚らずんばあらず茲に始政四十周年を迎ふるに當り先人の偉業を追懷し內臺有志等、伯の遺勳を偲び永く其餘光を留めん爲め銅像を建設するの議を起したるに、四方翕然として其擧を贊し數月ならずして之が實現を見るに至り、本日茲に除幕式を擧行するに至りたるは全く伯が多年身を忘れて邦家の爲めに努力盡瘁せられたる結果に依らずんばあらず、茲に本日再び嚴爽たる伯の英姿に接し追慕の情を新たにするを得るは余等後進の最も光榮とする所にしてまた島民景仰の念を不朽ならしむる所以なり、一言蕪辭を述べて式辭と爲し併せて此擧を贊助せられたる各位に對し深く感謝の意を表す

昭和十年十二月二十九日

樺山總督銅像建設委員代表

臺灣總督府總務長官　從三位勳二等　平塚廣義

政黨政治を賞揚し 憲政常道論を開陳

高橋藏相が昭和會員に

【東京二十九日發】高橋藏相は二十八日夜首相官邸に望月遞相、山崎農相、內田鐵相及び昭和會所屬代議士十三名を招待晩餐會を催したが、高橋藏相は席上一時間餘に亙つて左の如く年來の主張たる憲政常道論を開陳して昭和會員に多大の感銘を與へた

◇…最近世界各國の政治の傾向を見るとファッショとか一黨專制とか色々ある樣だが何れも多大の危險性を含んでゐる、結局最も安全な政治の形態は立憲政治である、立憲政治とは即ち健全なる政黨政治である、政黨政治が非難されるのは政黨が政權爭奪のみを是事とするからであつて自分は政黨政治を賞揚するが然し政黨に反省を求めるものではない、政黨に依る擧國一致の政治を求めて已まないのである昭和會を結成した諸君も心を此處に致して貰ひたい、殊に今議會が解散されるにせよ否にせよ來春には總選擧が行はれるが其際この銘言をもつて國民を導き國民の迷ひを晴らして貰ひたい

（寫眞は高橋藏相）

◇…尚政府の明年度豫算に對して政友會では[illegible]

[illegible]

學生運動の背後に 某國大使館が活動

國府も武力彈壓を開始

[illegible]を契機として赤化の方向に導くべく運動の指導に乘出し某國大使館と連絡をとり巨額の資金を投じてこれを全國各大學に密行した、某國大使館が學生運動の裏面工作に乘出したのは最近外蒙と滿洲國境に於ける外蒙側の攪亂工作の[illegible]一面に壓迫せしめんとするカムフラージュであるが、學生運動が北平より波及して赤化反日運動と化するに至つたため蔣介石以下國民政府首腦部も非常に狼狽し武力彈壓を開始するに至つたもので某國側は[illegible]を受けてゐる

政治的交渉で 漸く難關を突破

督府豫算が決るまで

【東京二十九日發本社支局特電】督府來年度豫算案査定に對する大藏省の態度は比較的例年よりも寛大の如く思惟せられ實際上に査議は順調に進行してをり二十七日中に省議の決定を見るものと一般に信ぜられてゐたが同夜に至り俄然決定を延期し二十八日は更に南洋廳、拓務、大藏各關係者間に協議を重ね所謂政治的工作の下に同夜漸く決定を見たが右一時停頓の事情に就き仄聞する所によれば大藏省側では近來南洋、臺灣等に特殊の使命を有する新設會社が續々計畫されてゐるので「これは何んとかならぬものか」と注意したので各關係方面の持寄り相談となり茲に政治的解決を試みることとなり結局原案通り通過せしめることとして昨夜省議を決定したものらしい

"産業關係では 希望通り通つた"

元氣をすつかり恢復した

平塚長官語る

【東京二十九日發本社支局特電】平塚長官は二日間の靜養ですつかり元氣を恢復二十九日は早朝より各方面へ挨拶廻りを兼ね用務の爲め外出し午前十一時頃督府出張所に元氣な姿を見せた

何うしたのですかと問へば

何アに下らないことだつたよ狹い部屋で炭火を長く焚いたものだから炭火の中毒をやつたものだと極り惡さうな笑ひ顏を作りあれでもひどいものだよ君達も注意したまへ豫算の方は丁度復活要求の時だつたからまたよかつた金額は多少減額したが產業關係その他所要經費上に就ては當方の希望通り通過した譯で今夜出發離任するが來春は一月十日に彼方を立つて再び上京する豫定だ

岡田財務局長

離任の途につく

【東京二十九日發本社支局特電】岡田財務局長は高橋藏相を訪へ二十九日發長官と同船で離任した

國交調整委員會 設置しても現狀では何等效果はない

先づ黨部の排日方針を淸算せよ

我が軍中央部の意向

【東京二十九日發】南京政府は日支兩國間に橫たはる諸般の問題を整調し兩國關係を打開する爲南京に日支國交調整委員會を設置したき旨を提議して來たので外務省は軍部側の意向を聽取し之に對する我方の態度につき研究してゐるが陸軍中央部は右に對し次の如き強硬態度を以て反對の意向を示してゐる

「日支國交の調整を計る事は我國の最も望む所である、併し今回南京政府の申出での如き國交調整委員會を南京に設置するも蔣介石氏と國民黨部の關係が現在の樣な狀態にあつては國交調整委員會を設置したとて何等の效果を期待する事は出來ぬ、國民黨は我國との關係に對し終始排日方針を以て事に當り[illegible]

[illegible]

臺灣拓殖會社法案 議會に提出と決す

私鐵補助法中改正案と共に

【東京二十九日發】拓務省は臺灣拓殖會社法案を次の議會に提出すべく本省並に外地關係法規の審議を決定したが關係法案は左の如くである

一、臺灣拓殖株式會社に關する法律案

一、臺灣私設鐵道補助法中改正に關する法律案

北支自治運動は 屋臺骨が出來た許り

高橋中佐門司で語る

【門司二十九日發】北平駐在武官より參謀本部付に榮轉した高橋中佐は二十八日午後六時天津より門司入港の長江丸で歸來したが高橋中佐は北支自治運動の將來に就き左の如く語つた

宋哲元一派の冀察政務委員會と殷汝耕の冀東政府を繞る北支自治運動は現在漸やく屋臺骨が出來上がつたばかりで今後の推移を待たねば何とも豫斷を許さない、目下民衆は右兩政權の不活潑に飽き足らず一方南京政府の壓迫は加はる許りで今後民衆の希望する所を容れ南京と如何に折衝して行くかは相當注意する必要がある、宋哲元、殷汝耕兩氏とも非常な決意で居るから彼等の工作が直ぐ崩れるとは思へぬ

米の斷交論者に刺戟を與ふ

【ワシントン二十八日發同盟】ウルグワイの對露斷交はアメリカ合衆國內の斷交論者に刺戟を與へた感ありワシントン朝野の關心の的となつてゐるが、之まで中南米諸國の內でソ聯と外交關係を結んでゐたのはウルグワイ一國だけであつたので其の斷交宣言はソヴエツトの南米に於ける[illegible]的活動の足場を奪つてしまつたことになると見られてゐる

兩事件勳功の三氏

きのふ勳章を傳達

二十九日午前九時から總督官邸に於て霧社、上海事變の勳功に依り叙勳の光榮に浴したる石垣警務局長（勳三等旭日中綬章）小濱內務局長（勳二等瑞寶章）谷山府[illegible]（勳六等瑞寶章）の勳章傳達式が擧行された

香港政廳で 減俸

【香港二十九日發同盟】香港政廳は稅收減少と香港弗の低落に依る不景氣を補ふため明年元旦より政府各機關の文官俸給を一律に百分の五を減額する旨二十九日發表した

モーゼス將軍が ハワイ師團長

【ワシントン二十八日發同盟】アメリカ陸軍省はハワイ師團長にモーゼス將軍を任命した

滿洲國が外蒙に 抗議電報

【新京二十八日發】滿洲國外交部は去る二十四日滿蒙國境における外蒙兵約六十名の不法越境射擊事件にて滿洲國監視兵一名戰死し戰鬪に援助した日本兵三名負傷せし事實を擧げ更に從來の越境射擊事件を列擧して二十八日外交部大臣張燕卿氏の名において外蒙首相に對して嚴重な抗議電報を發した

齋藤子の內審委員被免

【東京二十九日發】齋藤實子は內大臣に親任せられた結果二十九日左の如く內閣審議會委員被免の辭令があつた

正二位勳一等功二級　子爵　齋藤實

依願內閣審議會委員被免

飯島新岡山郡守 二日臺北發赴任

新竹州から出て岡山郡守に榮轉した飯島氏は二日臺北發の列車にて赴任する由

瑞穗丸より（來航北）西の表[illegible]三十日午後三時[illegible]

[illegible]夫、竹越[illegible]、國分[illegible]、[illegible]局長、上村陸軍大佐[illegible]

[illegible]本日の[illegible]【ニューヨーク二十八日發同盟】二十八日の當地市場における米[illegible]は前日に比し二仙方[illegible]二十八弗八十四仙と引けた

人事

▲永井潤太郎氏（日新報社役）同山社長と共に二十九日來北へ

▲國分光氏（[illegible]）外六名二十八日南部より來北

▲三卷俊夫氏　三十日內地より歸臺

▲木村泰治氏　一月二日瑞穗丸にて上京の豫定

▲小林準三郎氏（明治生命臺北支店長）二十九日內地へ

▲池光次郎氏（[illegible]）二十日來臺（[illegible]）

▲陳啓峰氏（新高銀行社長）二十八日來北二十九日夜行にて歸社

▲竹內正氏（淺野セメント高雄支店長）二十九日來北（鐵道ホテル）

▲大塚[illegible]氏（內外食品[illegible]）二十九日來北（鐵道ホテル）

▲和田馬公要港部司令官　二十九日夜行にて南下歸任した

▲樺山丑二氏　はるびん丸にて二十九日歸京

醇酒 桐白鹿

金線 KINSEN BRAND CONDENSED MILK ミルク

例年の通り昭和十一年正月の紋日花廢止仕り候 北投檢番

[illegible]

パチンコ 富貴屋

文藝

保險金六萬圓をめぐる 肉親謀殺事件

修身教科書の改訂 保險制度の改正も行はれるか

淺野秀一

犯罪史上未聞の惡事件――六萬圓の保險金をめぐる肉親謀殺の惡計畫は白日下に曝け出された――今教育方面ではこの事件を何と見るか？

☆…兩親が實子を謀殺し受害者の妹が惡に加擔した「日大生殺し事件」を耳にした時私共はこれに[illegible]ではないかとさへ疑つたほどであつた。由來我が國の家風たる忠孝主義に於ては、忠義のため、孝道のため、人情のため、他人に害を及ぼすものを亡ぼすため涙を揮るつて實の子を殺すといふことはあつたことで、その批判は別問題として[illegible]の寺小屋などそれに關聯してゐる「三千世界に子を持つた親の心はみな一つ」殊に不幸の子ほど可愛いといふ言葉さへある位で、禽獸の世界においてすら、本能的に親子の慈愛を示す場面がうかがはれるのである。然るに肉親がかかる大罪を犯すに至つた異常の事件はそも何を物語つてゐるのであらうか。

☆…親には孝、親は子を愛せよとは我が國に於ては極めてとどくしく述べる必要のない事柄としてあつた。從つて修身教科書に於ても忠に對して孝の一節は加へてゐるが「親は子を愛せよ」といふ事項は詳かに載せてないのも、これまでは敢ていふ必要を認めなかつたからである。然し、かういふ事件に直面して見ると、實際に修身書の一部には新たに子を愛する道を加へなければならぬ世相を考へさせられ、感慨無量たるものがある。これ蓋し[illegible]として襲來した西洋の物慾を中心とする個人主義の惡弊であつて、自己の利害の爲には肉親協力して、親を援け子を愛するといふ我國の美風を根柢から蹴飛ばしたものと見られる。親の子に對する道を說く一項を修身書に加へねばならぬとすれば、今日の世相實に恐怖すべきものがあると言はねばならない。

☆…更にまた、この事件を動機として保險制度の上に改正が加へられる時代が來はしないかとも考へられる。例へば同一人が三會社も五會社も契約する場合には、第二の會社に契約する時、第一の會社の契約高を參考項目として申込書面に記入せねばならぬといふやうな規定も現はれはしないかと考へられるのである

小說

吉川英治氏

山村耕花氏

豫告

紙衣祖師（かみこそし）

吉川英治作　山村耕花畫

本紙夕刊に連載して讀者の壓倒的好評を博した藤井眞澄氏の「元寇」は好評裡に完結したので愈々明春よりこれに代つて今夏一年の近きに亙つて絕讚を浴びつつ完結を惜まれた吉川英治氏の「親鸞聖人」後篇「紙衣祖師」が再登場いたします。挿畫はお馴染の山村耕花畫伯が彩管を揮はれます。切に御期待を乞ふ。

作者の言葉

吉川英治

希望の新春第一歩から、ふたたび親鸞聖人の讃仰を以て、讀者諸兄姉にまみゆることを、私は光榮とする。

私たちの今日は――殊に[illegible]春の門にあつて――明らかに感じることは、心まで人生の幸に充ち足りたいことである。しかも、それに代るに、不安、焦燥、虛無、迷妄ばかり多いのが現代人である。かさかさに渴いた人心は、さうして何ものかを强く心に求めてゐるか、その國に果して又邪教や拗ねた思想は跋扈する、ほんとの光明は――安住世界は、遂に人間には夢か、無いものか。

親鸞の後篇では、私は、親鸞の辿つた跡に就いて、讀者諸兄姉と共に、その淨土をさがして歩かうと思ふ。自ら愚禿と呼ぶ――最も私たちの凡愚の者に近い大聖に導かれて限りなき人生眺望の彼方に、吾が親鸞の咲く和樂安心の國をさがしに歩くべく、この新春の一歩を踏みだすことは、讀者と共に作家も大きな感激と希望を感じるのである。――

時、鎌倉幕府の武權はなほ行はれず、院政政治の祟れはふかく時代の根を蝕んで、國民の下に、赴くところを知らない民衆の悩み――その結果の虛無、逸樂、自暴、頽廢の[illegible]も近代世相とさながらに似てゐる。思ふに、親鸞はまた死んでゐない、親鸞は生きてゐる、この千年前と同じ社會苦惱の中に――又私たちの求める解決の中に。――私はさういふ假說と希望にふくらみつつ第一歩に向つてゐる。どうかこの本願の同行である讀者諸兄姉よ、叱咤と愛讀を賜れ。

畫家のことば

山村耕花

一息ついて、新しい春を迎へ、また吉川さんの小說に筆を執ることになりました。これも御佛の慈悲と思つて人間親鸞を前回よりも一層躍動させたく思つて居ります。

日本の詩歌に對する反省

（下）

福本卓

かくて知る、三味線なるものは日本の詩歌に適應したのでなくて、却つて禍根したのである事を。日本語の音調を以てしては、伴奏に適する良い樂器が昔から無くて困り、三味線の如きは、日本語の韻律を比較的に殺さぬ點から取り入れられたが、三味線の響きの騷さが、却つて日本語の自然歌曲を殺めて變な處へ引きずつて行つてしまつたのである。

今後日本・詩歌を眞の自然歌曲に戾して韻律的效果を完成しようと思つたら、三味線を棄ててしまはねばならぬと考へる。而して若し樂器が必要であらば、支那の洞簫が日本的尺八に改良された如く、今日のピアノが田中正平博士の手によつて改良されオイゼルンを驅かせた如く、更に浮山の天才が樂器の[illegible]を成せば良いのである。――つまり日本人が音樂の方にも、充分に獨創性を發揮し優れた新しい發明はどしどし民間が使ふ樣になればよいのである。かくして日本の音樂は飛躍する事が出來やう

○

日本の文明はローマの文明に似てゐて、他民族の發明したり考案したものをうまく採用して、文明を高めた民族であるか、音樂もこの傳統的な民族原理によつて、新しい內容を附加して行つて良いのである。日本は綜合の國であり、古きを[illegible]しつつ新文明を發展する民族性である。音樂もかくて世界音樂の綜合になれば良いので　私は日本の音樂が早く德川時代以前のひしがれた趣味性を脫却すれば良いのだと思つてゐる。日本音樂に[illegible]とても私は、過去よりも、むしろ未來へこそ期待を持つてゐるのである

それかと云つて、西洋の詩歌を原語で唄はずに、文句のみを翻譯し、曲調のみを原調を使つて、西洋音樂の日本化などと考へてゐる者は間違つた日本主義の新しがりには困つたものである。何となれば西洋的歌曲は西洋的な音樂を基礎として始めて出來たのであるから、これを日本語に翻譯して西洋の歌曲で唄つては、原詩の旋律や韻律の約束が根本から破壞されてしまふからである。卽ち、フラワーと云ふ言葉の作曲を「花」にあてはめて見よ。マウンテンを「山」に……等々の無理が出來、「旋律が目玉をむき立て靴刀を振り廻し」と云ふ音樂か「ペーンケイーが、メーダマを、むききたてーて」といふ風になるのである

○

要するに上述の如く、[illegible]よつて今日より以上に、[illegible]かと云ふた、やはり伴奏として[illegible]

くの發達を期する事が出來ぬ。それは日本語が二韻音語である限り頭韻や押韻のない現今の詩形が發き從つて純正の詩歌は發達しようにも、發達の要件たる詩勢の改良がなし得ぬからである

國語の傳統の勢は強い。日本民族は輸入される凡ゆる言葉を…無意識裡に二韻音に同化して行く。モダンボーイやモダンガールはモボモガと云はれ、資本家はブルに、無產民はプロ、無政府主義はアナ、建物はビル、デマ、テロ等々となり、或は二韻語の四音語となりコンクリートはコンクリ、知識階級はインテリとなる。――かかる約束が無言の中に支配される限り、永久に日本語は散文詩歌には適せず、逆に浪花節や、謠曲や講曲の如き「語り物」が支配しよう。而して大詩人、大歌人は遂に出現する事は出來ぬ宿命にあるのではないか

○

音樂は民族の詩歌に從ふと云ふ基本原則がある以上は、日本音樂の未來に就ては、浮山の悲觀は許されぬ。或は器樂で別に發達し伴奏物は伴奏で別に發達しよう。さうするより外に日本語の約束として仕方がない樣である……といふ「歌ふ」詩歌の作家にとつては、悲しみが深く永遠に殘るのみである（完）

雜誌紹介

▲文藝（一月號）創作は[illegible]（吉井勇）[illegible]（新田潤）[illegible]（林芙美子）の五篇本文には矢野峰人氏の「ペイタア再考」舟橋聖一氏の「[illegible]」ヴァレリイの「藝術の一般概念」ヴオルフの四幕もの「マンハイム教授」等をはじめとし、評判の木々高太郎氏の「探偵小說と私」小西增太郎氏の「トルストイと私」石川達三氏の訪問記「喰つてゐる橫光利一」等がある。ナンセンスものでは岸田國士氏の「あちおびあんないと」が島民のカミもどきの輸入で收まつてゐる。漫畫文理いろはかるたはなかなかうがつてゐるものもある（定價八十錢東京市芝區新橋七ノ一二改造社）

▲阿々土（第九號）速水御舟遺作展號として作品五十二點を年代順に收め、尙故人のすぐれた素描や、故人に關する安田靫彥、[illegible]、四宮潤一氏の記事、御舟略年表を掲げてゐる他、模倣と創作（金原省吾・神原泰・須田國太郎）現代日本畫への希望（福田豐四郎）[illegible]谷川徹三、田中一松[illegible]（山口誓子）大[illegible]飛泉（山口玄洞）等の興味記事や二科、院展、獨立、明朗等の各展覽の主なる作品を網羅してゐる、寫眞製版は實に精巧を極めて感じがよい（四六倍判總アート八〇頁定價一圓東京市板橋區中新井町三丁目阿々土社）

▲短歌研究（一月號）歷代名歌鑑賞號として、窪田空穗氏の「名歌と秀歌小感」[illegible]氏の「名歌の史的管見」をはじめとし太田水穗、[illegible]、武田祐吉、安藤正次、佐々木信綱、植松安、尾上柴舟、[illegible]、川田順、土岐善麿等廿七氏の各專門家の筆になる記紀萬葉集、平安朝、鎌倉、室町、近世明治大正の名歌鑑賞を收めてゐるが、眞に望みたるものがある、この他萬葉集の綜合研究（折口、澤瀉、[illegible]、角井）上代歌謠歌詞の解釋（今井邦子）等や各歌人の近作を網羅してゐる（特價一圓東京市芝區新橋七ノ十二改造社）

▲セルパン（新年號）映畫小說[illegible]（飯島正）ミモザ館（[illegible]）モスコウの一夜（伊藤整）航空都市（[illegible]）海外小說惡魔を追拂ふ（阿部知二）ダ、ロ、ロード（北村小松）をはじめとし、田部、[illegible]、黑田他等門六氏の「私のスキイ地[illegible]」[illegible]、井泉水・[illegible]・稚子五氏の「春の詩歌」[illegible]他四氏の「冬のスポーツ」[illegible]氏の「今日の農村」等特輯もので新春の氣分を盛つてゐる。創作は新人[illegible]田三郎の「機上」。あまり何等の雜誌でもやつてはゐないが要を云へば指導的な權威あるブック・レヴユーなど本誌に常設すればますます光彩を放つであらう（特價三十錢東京市麴町區三番町第一書房）

▲月刊ロシヤ（新年號）「ソ聯邦現狀大觀」として、外交（[illegible]）工業（直井武夫）產業（松井四郎）鐵道（[illegible]）貿易（[illegible]川文雄）文學（外村史郎）を特輯し、グラ頁は「ソヴエート聯邦畫報」として赤軍の近代的裝備や五ケ年計畫の鐵道電化を收め、日ソ關係打開の途（大藏公望）私のロシヤ觀（尾崎行雄）メニユー物語（荒木貞夫）モスクワ[illegible]（中日向[illegible]）スターリン論（中山貞雄）[illegible]露西亞旅行（伊庭[illegible]）等[illegible]とりどりのロシヤに關する有益興趣深き記事を滿載し新春號らしい賑かさを見せてゐる讀物として日露關係秘史「[illegible]の生涯」（平岡雅英）と「エリーナ」（阿部悦郎）を收めてゐる（特價四十錢東京市麴町區丸ノ內二ノ二日露通信社）

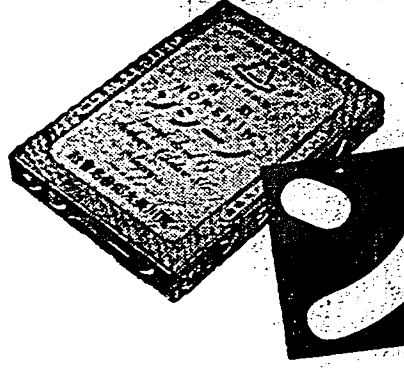
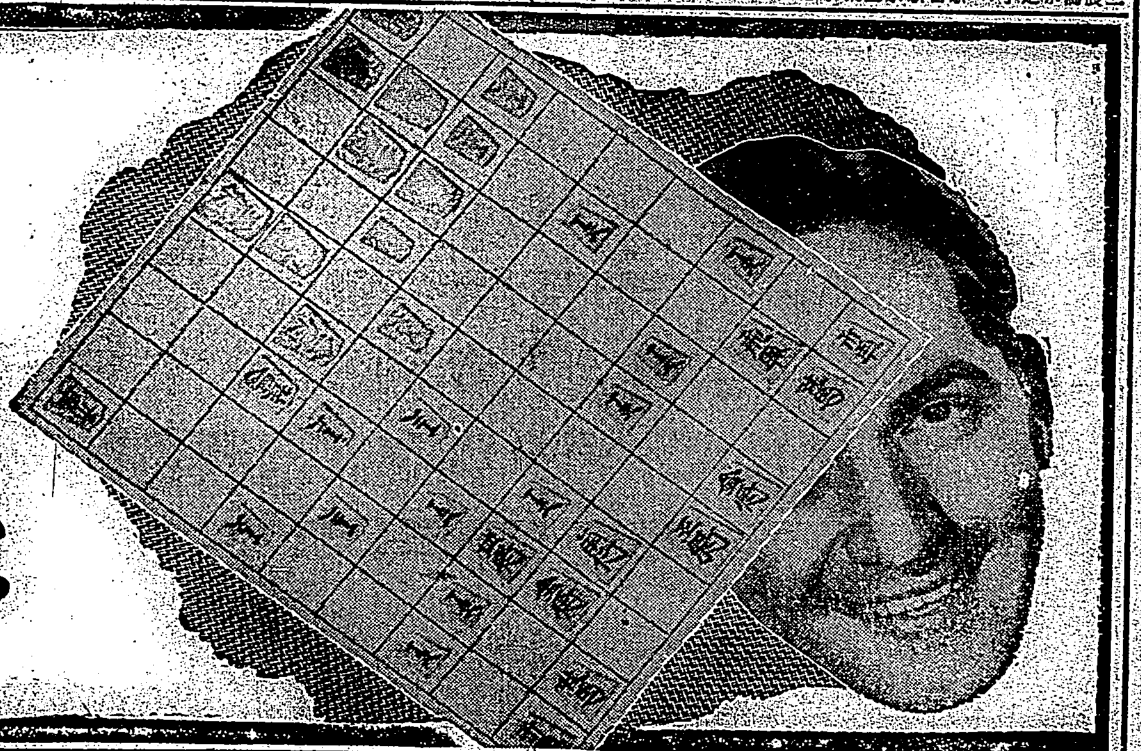
▲鐵鉗（第十號）[illegible]の川西英氏の刻々なる表紙裝畫が光つてゐる作品は[illegible]（川村[illegible]）夕[illegible]（[illegible]信夫）リンゲナツツ時抄（[illegible]）蛙と蟬（[illegible]）幻燈（[illegible]）西（[illegible]）夜（竹中郁）その他[illegible]等を收めた[illegible]な詩誌、定價二十錢神戶市須磨區行幸町二ノ一〇四海港詩人俱樂部）

▲驢馬（第五號）[illegible]（[illegible]戶彫夫）文學における[illegible]（[illegible]成）[illegible]文章、時村映二[illegible]（日根良一）白秋・光太郎（[illegible]）その他同人の作品を收めてゐる　定價十五錢姬路市北條町三ノ四八五ノ四時村方[illegible]社）

▲旅（新年號）[illegible]グラビア版による美しい旅のグラフや[illegible]を按配した旅の樂しい雜誌　內田百間氏の隨筆「鐵道唱歌」や[illegible]水氏の「旅行文學いろいろ」[illegible]二郎氏の「百人一首の旅の歌」その他「冬季オリムピツクを語る座談會」[illegible]夜店風景（中山晋平[illegible]）[illegible]（[illegible]太郎）[illegible]（辰野九紫）[illegible]婦人ページ等賑やかな編輯ぶりを見せてゐる（定價三十錢東京市神田區錦町二ノ二四ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー內日本旅行俱樂部）

▲文藝雜誌（創刊號）その名の示す如く一月創刊の文藝雜誌、創作は一色[illegible]（丹羽文雄）ワイアツの池（中島直人）分娩室にて（庄野誠一）ある出張員の話（外村繁）の四篇他に吉江喬松、坪田讓治、[illegible]、川島[illegible]、北川冬彥諸氏の散文や、新人作家への希望（中村地平）歐米文學の新動向（春山行夫）魯迅の「藤野先生について」（小田嶽夫）[illegible]の肌へと貧困の日月（[illegible]）があり、尙[illegible]作他四氏の特輯「外村繁を語る」がある。新人の文藝を募集してゐる（定價二十錢東京市下谷區上野櫻木町二七砂子屋書房）

▲兒童文學（一月號）麥の芽（川路柳虹）誕生（水谷まさる）どんどん燒の前夜（酒井朝彥）むじな（千葉省三）冬の想ひ出（小川未明）（[illegible]）新版一千一夜物語（[illegible]）光明[illegible]等を收めてゐる（定價二十錢東京市麻布區[illegible]）

疲れた頭を恢復させる

ノーシン

疲れた頭から妙手は出ない

人生は將棋の駈引だ……疲れた頭を絞つても逆轉逆敗の憂き目は必定！

ノーシンの値打は單に頭痛を拭ひ去る效果の優れた點だけではないですゾ！

疲れた腦を恢復させて天馬空を行く妙手を出させる處が本當の身上です！

三つの誇

（一）ノーシンには習慣性を生ずる成分を含んでゐないこと

（二）[illegible]ないこと

（三）胃が弱い人が飲んでも安全であること

試驗勉強や劇務で頭の疲れる方にぜひ服んで戴きたいと思ひます

―主効―

頭腦過勞・頭重
頭內朦朧・めまひ
頭痛・偏頭痛
二日醉・船車の醉
胃腸に無害

定價 .30 .50 1.00 2.00

[illegible]

鼻病治療に湊式を

▽鼻の惡い子は成績不良になります。
▽鼻の惡い青年は憂鬱症となります。
劣等兒の99%迄鼻病患者
鼻病患者は社會の劣敗者

[illegible]

「湊式は」次の樣な方に用ひてトテモ氣持よく治療が出來ます。

- ◇鼻汁が澤山出る人
- ◇鼻をかんでもつまる人
- ◇記憶力や判斷力のない人
- ◇頭が重く鈍痛を覺える人
- ◇呼吸が困難で口をあく人
- ◇不眠症の人
- ◇膿が咽喉に落ちて困る人
- ◇膿が蓄つて臭い人
- ◇鼻の中にお腫物が出來る人

◉無代進呈

鼻病患者の皆樣方の[illegible]湊式療法[illegible]四六判八十頁の[illegible]下さい。

湊製藥東京營業所
東京市日本橋區吳服橋三ノ七
湊製藥大阪營業所
大阪市東區高麗橋詰町五〇

特約販賣店
臺北市[illegible]
廣生堂藥舖
臺北市本町一丁目
長谷川長衛商店
[illegible]
三榮[illegible]

斷然他に類例なき療法

御注意
[illegible]

APETIN TABLETS アペチン錠

胃腸を強む

消化をよくし
食慾をすゝむ

藥價低廉
五五錠入（四〇錢）
二〇〇錠入（一圓）
五〇〇錠入（二圓三五）
一〇〇〇錠入（四圓五〇）

常に胃腸が弱く、食慾もすゝまず消化が惡く、心窩部が痞つたり、胃にモタレ感があり、又便通もとゞこほり勝ちで、從つて榮養が充分でなく、血色のわるい方には――アペチン錠は適劑として廣く賞用されてゐます。

アペチン錠は弛緩した胃及腸壁に緊張を與へて運動機能を活潑にすると同時に、消化液の分泌を旺ならしめますから、前記の樣な不快な胃症狀は去り、食慾は亢進し、消化は佳良になり、榮養分はよく體內に吸收同化されます。

且つアペチン錠は其成分たるビタミンB及D、消化され易い蛋白質、グリコーゲン、レチチン其他多種の貴重榮養素を豐富に補給しますから一層に榮養作用が働いて、病原に對する抵抗力はたかまり、血色の良い健康體に恢復します

食慾不振、消化不良、胃腸障害常習便祕、便通不整、發育不良、胃弱、乳兒脚氣、[illegible]、貧血、腸內異常醱酵、小兒消化不良病後の榮養恢復に特に好適です。」

アペチン錠

發賣元　株式會社武田長兵衛商店　大阪市東區道修町
關東代理店　株式會社小西新兵衛商店　東京市日本橋區本町

第一1762（○）

街に散る花（15）

竹田敏彦作
寺本忠雄畫
【禁上演映】

追憶の十字架（六）

「いかがでございませう。ちよつとお茶でも召上つて……」

久代もすぐ実登里に同意したが、林田は

「有難うございます……下宿で兄が待つてゐますから、また、いづれ――」

実登里は落胆してしまつた。

この人達は、お嬢さんまで兄弟揃ひに待つ気かしら。これほど重要な彼女の気も汲まないで、何と思ひやりのない人たらう――

実登里は俄かに嬉しくなつたが

「おや、お正月に歌留多を催いたしますから、その時、お待ちしてゐますわ。ねえお母さま」

「ぢや、正月にお邪魔しませう」

「きつと？……お迎ひを差上げますわよ」

実登里は必死だつた。

「ええ、楽しみにしてゐます」

「あら……嬉しいわ」

頬を照らしてはつと紅くなつた。ガードから見渡す、東京の夜の街は、銀色の月光に美しく濡れて、青の灯影が夢のやうに浮かつた。

その晩から、実登里はまるで少女時代に返つて、一つ眠ることに近づく正月を、指折り数へて待ちました。

正月が来た。

恒例の[illegible]もそそくさに、形ばかりに祝を済ませた実登里は、部屋にこもると、歌留多を占つてみた。

きつと来るだらうか――晴らしい胸をわくわく――「君」と出た。

そつと二人で笑んだ顔は、春の化粧に一としほ輝いてゐた。

その頃流行の紫色紋羽二重の正月晴着の裾模様に、人形より美しい実登里だつた。

十時、十一時、正午――玄関へ名刺を置いてゆく出入商人の足音にも、実登里は何度腰を浮かせたか知れなかつた。

「横山さんが、お見えだと」

「君」様ですかね」

横山晋吉の顔が近づいて、挨拶をした。

「やア、お目出度う……早々から大猛ですな」

「あら……」

晋吉は既に、新郎らしい、モーニングの襟を気にしてゐた。実登里の恋愛研究グループの一頁で、去年明治大学を出て、三十六銀行の京城支店へ勤めてゐる。色の白い、優型の男で、今日までのところ、実登里の婿として母の久代が心で定めた第一候補は、この晋吉で、久代の眼鏡に叶はれる意中に……晋吉自身も近頃では、実登里の婚約者のやうな自信をもつてゐた。

午後になると、ゾロゾロメンバーは集まつた。男の十数名は十人近い定連、男女で、そめき合つてゐた。女王格の実登里は、颯爽として一座をリードしてゐたが

「ねえ母さま、林田さん、どうなすつたでせう。梅やを迎ひに出して頂戴」

待ち侘びて久代に強請んだ。

「林田――そんな人が来るやうになつたんですか」

耳新しい名に、誰かが訊ねた。

「ええ、さうよ、帝大歯科の秀才、剣道三段で、柔道初段の医者よ。私のリーベ、御紹介するわ」

たとへ冗談に紛らせたにしろ、臆面しく披露したこの思ひを、洞[illegible]に叶くと、急に実登里は嬉しくなつた。

ラヂオ

三十日の分

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ―臺北測候所發表

【七・三〇】全國氣象通報（東京）

【一一・五九】正午の時報、氣象通報―臺北測候所發表、放送局編輯ニユース

【午後六・三〇】東西歳末風景 六・三〇―七・一〇（大阪）道頓堀中座其他より中繼、七・一〇―八・二〇（東京）銀座、新宿、大川端、淺草等より中繼

【八・三〇】時報（東京）、氣象通報（臺北測候所發表）、放送局編輯ニユース（臺北）、明日のプログラム發表

三十一日の分

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ―臺北測候所發表

【七・三〇】全國氣象通報（東京）

【一一・五九】正午の時報、氣象通報―臺北測候所發表、放送局編輯ニユース

【六・三〇】講演（東京）除夜の心境―加藤咄堂

【七・〇〇】新年演藝大會浪花節（大阪）不死身の小鐵―京山幸枝

【七・四〇】モダン小唄（東京）―津野新太郎外、一、勤倹力行、二、上げ風、三、浪花節仁義、四、縁起棚、五、文擁ひ戦術

【八・〇〇】歌謠曲（東京）藤山一郎、小林千代子、徳山璉、市丸、伴奏日本ビクター管絃樂團外三味線等

【八・三〇】時報（東京）氣象通報―臺北測候所發表、放送局編輯ニユース、明日のプログラム發表

雜誌紹介

▲傳記（一月號）國學者特輯號として古典の撰述から近世國學者の國體闡明運動まで（羽倉敬尚）賀茂眞淵と本居宣長（森銑三）平田篤胤と交渉をもつ人物（渡邊刀水）伴直方傳の研究（森潤三郎）等をはじめとし、鈴木重胤、中島廣足、木島宮陛、鶴岡冬陸、富田通文、加賀美櫻塢、飯田忠彦等に關する記事や、その他國學者の逸話を滿載してゐる。佛英命前奏秘史「頸飾事件の眞相」（大井征）は興味深い（定價七十錢東京市麹町區内幸町一ノ三大阪ビル傳記學會）

▲婦人會（一月號）新年附[illegible]中川健藏）一九三六年の女子スポーツの展望（[illegible]）貞操日記（[illegible]）新春擬詠（[illegible]）海上雲雀（[illegible]）海上藝道（山本孝江）金の紐輪（西川潮）その他民國議員の妻の座談會、女相撲大會、婦人面相談會等を收めてゐる（定價四十錢市内本町一ノ三九婦人社）

▲臨時新報（一月號）能樂[illegible]案内記、臨時辭典（定價三十錢東京市四谷區大番町二四其社）

▲圖書（一月號）警察[illegible]圖書内の有保險新聞雜誌の新刊目錄を收めてゐる（東京市京橋區京橋二ノ二春陽堂倶樂部其社）

▲臺所と浴室（一月號）臺所改善の必要と秘訣（福田俊三）沐浴時浴場の考現學浴場風景（[illegible]）その他（定價二十錢、東京市京橋區槇町三ノ五大日本衛生設備研究會）

▲ゆうかり（一月號）元日の陽を照り返し[illegible]子ひそと（[illegible]）その他（定價二十五錢、市内大安十二甲四一四ノ二其社）

▲ホーム・ライン（一月號）千代田の春（吉田宗治）誠びゆくお正月（[illegible]）年賀状（川路柳虹）新春問題（阿部金剛）私の提案無軌道女性は？（[illegible]）チヤプリンのこの頃（飯島正）國際スパイ物語（飛島京太郎）映畫界の秘話（立花高四郎）ミリアム・ホプキンス解剖（南美子）その他短い明朗な讀物や寫眞を滿載（定價十錢、東京市日本橋區本町二丁目千慶會社）

月刊 鷄の研究
一月號（一部三十錢郵税二錢）實物見本要郵券申込
東京丸ビル六階 鷄の研究社（振替東京七三三二六一番）

嘉なかだち
求職一件一回 壹圓貳拾錢
其他 一回 壹圓七拾錢
匿名 倍額

女給拾數名募集
臺北表町 ボタン新館

齒科技工師一名入用希望者は來談ありたし
新竹市有樂館前 石田齒科醫院

慢性胃腸病で惱む人々へ

あなたの胃腸病が癒らぬのは、個々の症状だけに作用する對症療法のみに頼つて、病氣の根本的原因たる、衰へたる胃腸細胞そのものから丈夫にしてゆく病原療法に迂遠な爲ではないでせうか

胃腸病が慢性になると、大概の方は一生不治の様に思つてをられますが、それは今迄の療法から推して考へるからで、近來、學界で唱導されてゐる「細胞賦活作用」に基く療法によりますと、決して不治と諦める必要はなく、案外容易に全治できることになりました。

今日までの胃腸病の療法は、例へば、食後胸やけがし、空腹時に胃が痛む胃酸過多症に對しては重曹や服型マグネシヤ等を與へて多すぎる胃酸を中和させるとか、或は、消化力の衰弱から來る胃カタルには、限られた消化作用しかないヂアスターゼやペプシン等の消化劑を與へるとか、**下痢を伴ふ腸の病**の場合は多く、次硝酸蒼鉛が與へられ、便秘の時は炭酸カルシウムを服用し、又、胃アトニーの場合は一時的に胃の働きを高める意味で硝酸ストリキニーネ製劑や苦味劑を服用せしめるといふ風の、對症療法の範圍を出ないものでありまして、異常を起し、或は衰弱して來てゐる胃腸の機能そのものを病原から正調にするといふ治療には無力でありました。

だから、藥を服んでゐるうちはいくらか工合がよいが、藥をやめると直ぐ惡くなるといふことが多いのでありまして、斯うした化學藥劑をいかに服用したからといつて決して病根から胃腸病を癒すといふことは、なくなか望み難いのでした。

ところが最近評判のヘーフエといふ細菌を巧に錠にされた「錠劑わかもと」は**胃腸の衰弱した**細胞に活力を與へてその機能を健全な状態に甦らしめ、病原から胃腸の障碍を除く理論に基いた藥でありますだけに、その胃腸の機能を健全に立直す作用は實に目覺ましく、在來の極限された對症的効果しかない化學製劑に比べますと、遙に治療成績がよいといはれてゐます。

例へば、胃酸過多症の人が「錠劑わかもと」を服めば、胃液の分泌作用が調整されて、多すぎた酸が自然に正常に復しますし、胃潰瘍なら潰瘍面の細胞が新生されて自然に治癒に向ひます。又胃アトニーならば弛緩した胃の筋肉の張りが快復してきますし、胃カタルで消化力の減退したのは消化酵素の分泌が増し、消化がよくなつて吸收の機能も自ら高められ**下痢便は正常となり**ますし、また便秘ならば一日一回快適の便通が得られる様になるといふ風に、胃腸病に汎い効果のありますのは、前述の通り全く胃腸の組織細胞が再生賦活した、それぞれ持ち前の機能を充分に發揮する様になるからで、この「錠劑わかもと」に見られる如き作用を學問上「細胞賦活作用」といつて治療界から非常に重視されてゐるのであります。

食慾素の話

近頃治療界で評判なのは、ヘーフエといふ一種の酵菌で、其細胞内には十數種の消化酵素が含まれてゐるので、食物をよく消化せしめ、血となし肉と變ぜしめる働きを營みます。殊に食慾を進める作用が著しいので、有名なフランスの胃腸病學者ボアス博士をして「之は食慾素ともいふべきだ」と驚嘆させた程であります。「錠劑わかもと」を服むと胃腸病の治療と榮養の補給に著効があるといふのは、この藥が右のヘーフエの全成分を活性のまま藥劑として製られたものであるからです。

一夜がわからぬ危險な肺炎

子供の風邪に特に御注意

これから冬にかけては呼吸器の弱い子供のある家庭では油斷のならぬ時季です。毎年、肺炎、氣管支カタル、感冒等の爲に死亡する子供の率は實に、胃腸病で死亡する子供の率と略同様の高率を占めてゐます。

感冒に罹ると全身の免疫性防禦力が減退して抵抗力が弱ります。即ち「風邪は萬病の基」といはれてゐる所以でありまして、この様に全身の抵抗力が減退した處へ

病菌が侵入して局所の組織に炎症を起して呼吸器カタルのみならず、所謂、萬病と迄で云はれるほど種々なる病氣を誘發するのでありますが、中でも肺炎は突發的に起つて子供の生命を奪ふ點で、最もおそれられてをります。

感冒の豫防には、寒さに對する全身の抵抗力を強めることが主眼で、これには體外から抵抗力を強める方法と、體内から抵抗力を充實してゆく方法とあります。

子供が幼い頃からお母さんが注意して、外氣に慣した薄着の習慣をつけ、厚着などを餘り温めすぎぬこと、汚れたり濕つた着物は直ぐに取替へてやるとか、又、努めて戸外で運動させて、日光浴、空氣浴を充分にさすことが肝要で、少年期以後に、積極的に感冒に罹らぬ様にするには冷水摩擦が最もよい方法であります。

以上の例は、全身の抵抗力を體外から高める一の手段ですが

體内から全身の抵抗力を充實する方法として近來、實行せられてゐるのは「錠劑わかもと」の服用でせう。それは、「錠劑わかもと」中の多種の活性酵素が、感冒に罹り易い様な抵抗力の弱い組織細胞に活力を與へて活潑にし、全身に抵抗力を充實せしめるからして、感冒が流行してもおいそれと感冒には罹らぬだけの丈夫な體質になれるし、今一つは、體内に侵入した病菌を溶解する防禦素を增殖さす酵素が「錠劑わかもと」には含まれてゐますので、積極的にも肺炎菌などを溶解して、病氣を喪失せしめるのであります。

「錠劑わかもと」はさういふ風に、肺炎に効き、感冒に罹り易い體質をも、罹り難い丈夫な體質にするのですから、感冒期の今後、家庭ではのべつ必要な藥であります。ですから

肺炎や感冒に罹らぬ様にして體内の抵抗力の充實を計られる家庭は、近來、既に殖えた様であります。なほこの「錠劑わかもと」は東京芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入の二種が一日四五錢（小兒には一日僅か二三錢）にも當らぬ廉價で發賣されてゐますが、近來その廉價を利用して、効果乏しい類似品（酵母、ビール酵母劑といふ類似品）を[illegible]お薦めする者が[illegible]御注意下さい。

頑固な胃腸病で

心身共に衰弱したが

（長野）酒巻良人

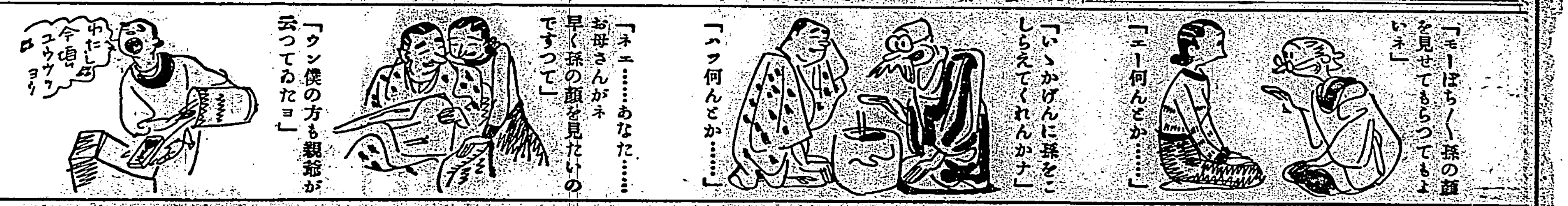
わかもと愛用者になる以前を申上げますれば、昭和七年春、花咲く頃は、はち切れそうな健康にまかせ、文字通りの暴飲暴食に、て、かやうな苦杯を嘗めることになりました。

病苦の經過は、殆ど同病者のお定まりの様に、食慾減退、消化不良、腹は張り、げつぷは出る、軟便、下痢、腹痛、腹はごろごろ鳴る、嘔吐を催すなど色々種多な故障がありまして、胃腸も身體も衰へれば氣力も伴ひ、一家の大黒柱の私が、元氣は全く失せ、氣一つ持つ事も[illegible]など到底に出來ず、[illegible]など非常に困苦と[illegible]がありました。

「錠劑わかもと」服用に際りましては最初は八十三日分五圓のものを買求め、一回四錠宛一日三回服用し、先づ血色特に指先の爪の色艶がよく見え、それに力を得て服次服用に注意しましたので、凡ての症状が説明書にあります通りにあらはれ、（中略）歩行も息切れの困難もなくなりました。私は心から感謝致し、なぜ早く「錠劑わかもと」を愛服しなかつたかと後悔しました。

[illegible]（後略）

進呈！
「錠劑わかもと」抽籤券附特賣
一等、參千圓割增金付勸業債券二枚宛
全國藥店にて一齊賣出し中
詳細は藥店にお問合せ下さい。


「モーぼち〳〵孫の顔を見せてもらつてもよいネ」
「エー何んとか……」
「いゝかげんに孫をこしらえてくれんかナ」
「ハア何んとか……」
「ネエ……あなた……お母さんがネ早く孫の顔を見たいのですつて」
「ウン僕の方も親爺が云つてゐたヨ」
「わたし今頃ユウウツヨ」

サンガー夫人曰く
サックが
一番安全なり
サックは
ハート美人と
ホワイトハートが
一番完全なり
[illegible]

ウテナ エリ固煉白粉

艶麗
溫かな美しさ
微笑ましい晴姿

お正月が
近づきました
そら、あんなに嬉しさう
颯爽と微笑んで
あなたに、近づく
一九三六年
輝かしいお正月
×
艶麗なウテナで
溫かな肌色で
微笑ましい晴姿を飾りませう

白色
肌色
濃肌色
健康色
各色 三十五錢 五十三錢

―東京・久保政吉商店―

◆冬日隨筆◆ 冬を愛する心

新居格

冬の月は短かく、それが冬至になつて頂點に達する

冬至の日の柚湯は一種の趣きがあるものだ。しかしそんなことを云ふと、今の若い人達に呆ッ氣に取られるかも知れない。彼等の頭にはもうさうした風習は浮かんで來ないのではないかとさへ思ふ。わたしには古くさいところがあつて冬至の日には柚湯をすぐ思ひ出す。わたしは柚湯に入ることが好きだからである。柚でなくレモンでも同じ事だが、それらを入れた湯は肌に滑らかな感觸を與へるのがいい。[illegible]にあるかのやうだ。冬至の日の午後、客のまだ少ない時刻を選んで錢湯へ出かけるのがわたしだけの年中行事になつてゐる。その日が晴れて明るい光が射込んでゐるとさらにいい。そんな忘れられかけた習慣になじむのも、寂れた趣味には非常にいいもののやうに思ふ。そして湯槽に浸つて目をつむつて暮の忙しさを遠くの方のどよみとして押し遣るのもわたしの好みの一つである

冬は陰氣ではあるが、それは曇つた日とか冬至は雨の日とかのことで、それに風が加つたり、夕暮が迫つて陰影にもなるが、冬と云つても晴れた日は一層のよさを見せるものであつて、日にかがやいた山の姿を眺めるなぞ愉快の極しか暖かい[illegible]日の暖かいことを惱むだけである

春、夏、秋を通して比較的暇なときのわたしも冬になると實際忙しくなる。殊に暮になる。これは夜が遲くなる習慣の結果であるけれど、わたしは冬の寒氣に苦を感じない。寒さにいぢけるせゐでもある。で[illegible]床で新聞を讀んだり、[illegible]を讀んだり時々は、[illegible]紅茶の類を[illegible]飲んだりしてあまりほめられない孤獨[illegible]に入つて仕舞ふ。しかしその習慣をさへ時には享樂して、[illegible]動めのない身の安らかさを感じるのである。全くだらしのない話ではあるが

わたしは冬も好きである。しかし好きだと云つても漠然としてであつて、冬がわたしを特によろこばせるものがあるのではない。わたしはウインタア・スポーツの何一つも出來ないのだし、冬の夜に樂しい[illegible]の集ひをもつには孤獨に過ぎる性格と身邊である。それにも拘らず冬は好きなのである。そしてそれをわたしは冬のもつ靜けさに歸せしめてゐるやうである

世間の人々は兎もすれば孤獨感をわびしいもののやうに考へてゐるらしいが、わたしには少しもそんな氣がしない。この社會に住む以上いくら孤獨になりたくともなれるものではないのである

……

わたしはどこへ行くにもいつもひとりである。併しどこへ行つたとて話したり、冗談くらゐ云ひ合へる人間はゐるではないかと思ふ限りに困なくとも人間はどこにでもゐる。そのことだけでも孤獨ではない。口で話合はなくとも目か耳か、心かタッチしてゐる。わたしは冬の夜の集まりがなくともレストランの食後にストーヴと對してタバコをふかしてゐても優に何かであつて孤獨ではない。そんな時で冬の夜が好きになれるのだ

冬の日の一日を自分自身について考へてみると嚴肅さに盡きてゐるがのやうだ。まづ朝寢だから午前の時間は短かい、午後も明るい光のあるのは四、五時間で何とすると云ふこともなしに夕暮が迫まる。そして夜、全く毎日が單調と云へば云へるが、しかし、その單調の中から汲み出す何らかの變化が出ないこともない。單調の中から汲み出す何らかの變化と趣味があるとき云へるのではあるまいか。概して花のない時に見る深紅いろの山茶花は派手ではないが殊に目立つ。花屋の飾窓にある[illegible]木のあの朱紅色の實が鮮やかな印象を深めるのも冬なればこそだと思ふ

……

冬景として閑寂な風景は却つて冴えた明徹を思はせるものであつて、さびしさではない。わたしにとつて冬の點景は悉く氣に入るのである。冬のさむさは身には沁みても心の豐かさを奪ふものではなささうだ。火桶を擁してしめやかに語る小人數は大勢の集まりよりも内容的には豐富であることは人々の經驗するところであらう。そして暮れに迫つた街の雜沓やあわただしさが、惱しくも情けないやうな氣を起させるものなのである。であるからわたしは冬には街に出たがらない

昔は枯野見と稱して枯野の趣きを味はひに行つたこともあると聞く、そんな趣きは今となつては全く滅んでゐる、と云ふのはさうしたことをしてゐる暇は現代人にはない筈だ。しかし現代人は現代人らしく冬の趣きを生かしてゐる、音樂會、劇場それらは秋が絶好だが冬もまたわるくはない。ソシアル・ダンスは冬によく踊りぬいて温まつた身體を深夜の歸途に運ぶことは他の季節にまさつて快いこともなるであらう。空に氷いろして光る星が[illegible]の瞳のやうに幻想出來るならば、冬の感情は決して寒るものでないことが分る筈だ

わたしは冬を愛する。少くとも日本の冬を、われ〳〵の冬は概してさう辛くは當らない。そればかりでなくわれ〳〵に瞑想を伴ふ落付きを與へる。わたしのやうに浮揚性をもつ人間がやや落付き振に考へることが多くなるのも冬と云ふことになるからである。仕事にも讀書にもいい季節であるが、それ故に孤獨者の散步をどこに運んでもゆつたりした氣持になれるのかも知れない

冷情の性質なのかわたしは感慨とも云ふべき心の狀態に陷つたことはない。むしろ感慨と云ふやうな理知性の要素を缺いたと思へることのきらいなわたしではあるが冬の與へる落付きは人のことを何と云ふことなしに思ひ出させる。わたしはそれを冬の感情として貴ぶところの情操としてゐる。その趣の情操はわたしには稀に見る高貴さに導くことさへある。その情操を愛する心は冬を好むこころともなるのであらう

雜誌紹介

▲東京堂月報（十二月號） 昭和十年度の出版界を月旦す、新居格、岡邦雄の三氏が各方面に亙つて論じ文藝と讀書欄では小泉一雄、内田巖の二氏がそれ〴〵父を語つてゐる、ロシア文學の二特輯（昇曙夢）新刊分類目錄等を完備して讀書子には見逃し難い書物雜誌である（東京市麹町區九段一ノ七東京堂）

▲神秘（一月號） 運命學の裏面と消極面（田中恒一）迷信に[illegible]付かれた偶然文學論（[illegible]七郎）指紋學の原理とその運命學的效用（長谷川沼浦）易の運動 佐瑪論（[illegible]田英一）人相學講座（黑水寧人）易占術講座（加藤大岳）その他[illegible]式姓名學に對する批判記事、靈感の神秘等を滿載してゐる（定價二十五錢東京市神田區須田町一ノ二四紀元書房）

▲農業と經濟（一月號） 農村更生政策の根本方針（大槻正男）米穀統制法の缺陷と米穀自治管理法案（八木芳之助）農村經濟更生特別助成と地方財政の調整（渡邊庸一郎）農產物價格と農村更生（近藤康男）その他有益なる記事を收めてゐる（定價四十錢東京市赤坂區一ツ木町三二西ケ原刊行會內其社）

▲雲の柱（一月號） 賀川豐彥氏の主宰になる雜誌で、新宇宙觀と新人生觀（賀川豐彥）全人類への宗教（中山昌樹）ロシヤは宗教を削飛する（高原發男）その他（定價二十錢東京市世田ケ谷區上北澤二ノ六〇三其社）

▲オアシス（一月號） 新年の懷ひ出（北川千代）テープのきれはし（吉村貞司）日記（石川年）なんでもかでも（矢倉茂雄）春（川井武太郎）近く年を顧みて（及川道子）その他（定價二十錢東京市赤坂區青山南町四ノ二東京ミツカ會）

▲臺北帝大記念講演集（第四集） 臺灣農業の特質（奧田彧）臺灣の文化史的考察の一面（安藤正次）の二篇を收む（非賣品 臺北帝國大學）

▲劇作（一月號） 屋根の雪（長谷川伸）殘んの雪（川村花菱）梅坊主（木村錦花）母とともに（金子洋文）金殿（額田六福）愚連隊の仙太（北林透馬）神々も照覽あれ（太田眞一）預金帳（[illegible]三郎）ジャック・スツロウ（大村[illegible]子）春[illegible]供養（[illegible]）の十篇の戲曲が約二百頁に亙つてズラリと並んだところは壯觀である、[illegible]南北、池田大伍、渡邊滿太郎他十數氏の隨筆・研究等を收めてゐる（定價八十錢東京杉並區阿佐ケ谷二ノ二八九其社）

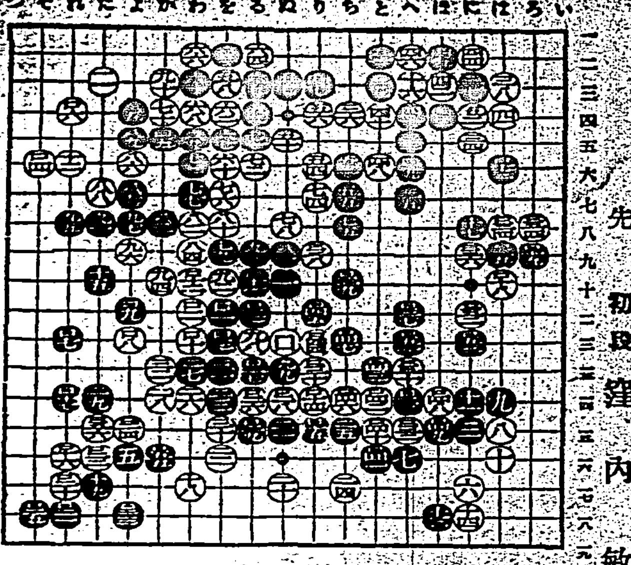
▲買物知識（一月號） 家庭經濟と女中の役割（田中法善）正札裏談（本野平太）買物を上手にした實話（細川繁市）その他（定價二十錢東京市麹町區丸の內二ノ十八昭和ビル家庭經濟と理化學の會）

日本棋院 秋季大手合戰譜

（第三局の五）

三段 藤澤庫之助

先 初段 窪內敏明



○□二六るの一四
●□二七るの一三
○□二八ぬの一四
●□二九るの一五
○□三〇りの一三
●□三一るの一一
○□三二への一五
●□三三への一四
○□三四はの八
●□三五はの九
○□三六にの九
●□三七への一一
○□三八りの九
●□三九ちの一〇
○□四〇どの一五
●□四一との一六
○□四二との一四
●□四三との一三
○□四四りの一二
●□四五りの一一
○□四六ちの一四
●□四七ちの一二
○□四八はの一四
●□四九はの一五
○□五〇への一三
●□五一への一三
○□五二にの一二
●□五三にの一一
○□五四ろの八

●□五五の一六（□五六たの一五）

消費時間 白七時五五分 黑七時二九分

戰評 白□二四まで進んで、左下隅にての十五の連絡を保留し、□二六、□二八と中央に手をつけて行つたのは、左下隅を荒しただけでは、相當優と見たものであらう。黑□二九の切りは不當、殺千萬だが、勢ひとして已むを得ない。白□三十の當てを利かしきつて、相死の狀態にあつた九八、□の二子を救ひ出して來た白□三二のケは筋であるが黑□三三との交換が果して白□三四以下の手段に障害を與へなかつたであらうか、その可否のほどは不明ではあるがこの交換があると、少なくとも後に白□との十五と突當つて行く狙ひは殘るわけである。白□三四、□三六といよ〳〵□十八と意圖を露いで此の地の攪亂を試みて來たが確たる成算はなかつたのであらう。黑□三七に十七分を要したにも拘はらず、かかる漫然たる着手を下したのは、迫り來る制限時間に追はれて、としか考へられない。この手を□三九に打つて備へを固くしたならば、藤澤君といへども、充分の成果を擧ぐる事は困難だつたに相違ない。[illegible]の黑□三九までの狀情には[illegible]ならぬ緊が[illegible]つて居る。雨となるか風となるか將又大暴風雨か襲來するのであらうか。白□三八のハネ出しを利かしてから、□四十の突張を打つた手順など藤澤君一流の隙のない運びである。黑□四一で□四二に押へて居れば無事には相違ないが、白□四一の次ぎに手を引かねばならず、後に白□五六のクナギなどが殘つて居るのでは到底成算は持てまい、白□四四以降黑□五一まで、退引ならぬ應接であり、白□五二と利きの後に□五四と指へられる事になつては、既に黑は非勢に陷つたのである。黑□五五のノビは『わの十五』と切つて、勝敗を一氣に決せんとしたのであるが、白『ろの八』が先手利きの關係上、この『わの十五』の斷點は白に痛痒を與へない、寧ろ此の黑□五五で□五六に切り、極力收拾にかかる方が多少の望みをつなぎ得たのである

昔……はこんなにしてまでムリヤリに肝油を服ませたものです。

民間療法時代

永い間、迷信扱ひされた民間療法にも偉大なる眞理を發見するものです。肝油の如きその一例で、民間療法としては過去數世紀の間非常に尊重されたものですが、一部の化學者達はこれを分析臺にのせて、この油の構成はたゞの油に過ぎない、かようなものが効く筈がない、肝油は寧ろ有害であるとの迷說すら流布された時代もありました

ヴィタミンの發見

しかるに、一たび、オスボン及びメンデル兩氏により、肝油の中からヴィタミンＡＤが發見さるゝに及んで、數世紀に亘り學者達から多く顧みられなかつたこの民間藥が一躍してあらゆる榮養劑の覇者となり世界を通じて醫藥兩界を風靡するに到りました

量より質の時代

然し肝油にも缺點があります。それは如何にも服みにくい點です。肝油が効くのは服みにくい油そのものでなく、その中に含まれるヴィタミンＡＤにある以上、これまでの肝油よりモット濃厚なＶＡの天然給源があれば、あの臭い大量の油を服まなくとも濟み、この缺點を除き得るわけです

聖魚肝油の發見

この研究の結果發見されたのが鰈魚肝油です。これまでの鱈から採つた肝油に比べ百倍前後も濃厚にＶＡを含有してゐる事が分り何この油が發明され、小兒一日一粒、大人でも三四粒の服量で足り「肝油服用難」といふ難點も快く一掃されました

學校、會社、工場の病氣缺席率を減少

肝油は寒冒に對する抵抗力を強めますから、特に寒冒期の保健劑として一ばん良いことは申すまでもありません。肝油常用者にかぎり患者が少く、又肺炎や結核など呼吸器病の罹患率が低いことも事實です。[illegible]、今や新醫者を始め、學校でも會社でも工場でも盛んにハリバが常用されるに至りました

今……は豆粒大の甘い小粒で兒童の方から進んで服みたがります

小粒で服み易く効く 鰈魚の小粒

こどもの鰈魚肝油

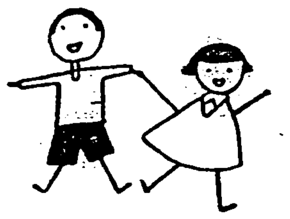
	一日量	肝油換算量
幼兒	一	四グラム
小兒	二	八グラム
大人	四	十五グラム

[illegible]

田邊元三郎商店

肝油はハリバの時代

ビクター



兒童レコード

村祭
蟲のこゑ
ゐなかの四季
水車
あひるのせんたく
泣蟲學校
キユーピー・ピーちやん
青い小窓

平山美代子 [illegible]

八吋兩面盤 二枚組一組入 一圓五十錢

ビクターの兒童レコードは童謠・兒童劇・唱歌などお子樣方のよい伴侶です。[illegible]ビクター特約店でお求め下さい。

新雜誌「青年倶樂部」創刊記念 大懸賞

大景品つき 面白い考へ物

（課題）

		2
	5	
8		

上に六ツの四角があけてあります。その中へ１３４６７９の六字を入れて、たて、よこ、ななめ、何れからよせても十五になるやうにして下さい

大景品 SP入 プラチナ指輪 / 美術置時計

●正解者には左記各種の大景品を進呈す。[illegible]

青年倶樂部社

■高等 全十二冊 [illegible]
■初等 全十二冊 [illegible] 小學卒業生にもよく分る

電機學校講義錄

東京・神田 電機學校內 [illegible]

ALMOND PAPAYA

アーモンパパヤ

藥用クレーム

そばかす

ニキビ

にきび そばかす ひみ

パパイン酵素の效能

氣持良く皮下に浸透して色素を分解作用を行ひ新陳代謝が盛に行はれて次第に浮出し垢となつて落ちる

皮下に溜る脂肪が柔く溶け新陳代謝によつて皮膚孔から排泄せられお肌はつる〳〵します

●見本進呈 [illegible]の威力をお試し下さい 二錢切手お送り次第郵送す

▲一號容器…一・二〇 ▲二號容器…一・八〇

本舗 東京・本所・緑町二 杉田商店

御存じですか金儲の親玉

自動球遊器（一名パチンコ）

弊社製ノパチンコは堅牢無比にして人氣滿點 絶對優秀品なれば永久の使用に耐ゆ

カタログ呈

各地一府縣一店限り 特約販賣店募集

東京市芝區大門七軒町三番地 鈴富商會 電話芝 一三四八番

支店 橫濱・名古屋・新潟・小樽・神戶・松本

出た!!

銅像を涙で洗ふ女

杉野兵曹長の妻

天中軒雲月の大浪曲

男士の遺業が織る人生悲話！ [illegible]

一枚一圓

ヒステリーに 頭痛に

はれやか

で八の字よせぬやうになり

[illegible]

皮膚瘙痒症に

ミツワ制痒膏

定價二十五錢

優良品に此の好評

ナショナル乾電池

腦溢血・中風の治療と豫防に

「ヒポアポ」錠

（二〇錠入約六日分金一圓七十錢）

荻原醫學博士著（高血壓の話）御申込次第進呈

株式會社 鳥居商店

臺北市街圖

定價五十錢

發行所 臺灣日日新報社

優秀治淋藥

特製

ルーベリ

うみも痛みも即解消

竹村製劑所

大阪市南久太郎町 [illegible] 振替大阪三六〇番

全國到る處の藥店にあり

骨くさる

[illegible]

長壽園本舗

近代人の裝身具

ファインゴム

すつきり…とお背を高く

すらり…とお姿をよく

いんきんたむしにハウト

[illegible]

忘年會も新年會もこの歌で！

二八六三 貫一お宮 豆千代・松平晃 高橋掬太郎作詞・江口夜詩作曲

★

二八六二 乙女鳥 ミス・コロムビア 西條八十作詩・江口夜詩作曲

★

二八六五 興安おろし 音丸 佐藤惣之助作詩・江口夜詩作曲

コロムビアレコード

一枚 一圓五十錢

涙滲む軍國風景

四ヶ年獻納決算

飛行機百十六臺を始めとし 金額にして千六百八十餘萬圓

近く大阪に防空學校

非常時一九三五年の暮は滿洲事變以來の軍國熱に煽られ日本國民の胸裡に深く刻まれてゐるが、その滿洲事變や上海事變後における國民銃後の赤誠ぶりは恤兵金品に或は國防兵器の獻納に目ざましい成績をあげてゐる

この程、陸軍省に國防獻品取扱ひ委員會設置以來即ち昭和六年十二月二十一日から本年十二月二十一日まで四ヶ年間の獻納額をみると次の様に著しい額に達してゐる

△戰鬪機五〇△偵察機二七△偵察機一六△患者輸送機六△通信連絡機七△防空氣球一△野戰高射砲七九△觀測車四△九〇式野砲一△步兵砲二△輕機關銃二八五△重機關銃一二△擲彈筒一七二△三八式步兵銃一八六△輕戰車二△裝甲自動車二〇△輕裝甲車二〇△牽引車三△牽引自動貨車四△自動貨車二四△測量附自動二輪車一三△乘用自動車六△患者自動車一〇△裝備自動車五△野戰炊事自動車一△各種情報機六六△無線電信電話機五七△空中聽音機二三四△探照燈四〇△鐵帽二三五、二〇一△防毒面一、九四六△防彈衣一四七△防寒用七、五七四△患者用病院用品一〇一△軍醫携帶嚢五七△[illegible]一六七、七二六△[illegible]一八其他

これ等の總價は實に千六百八十六萬千四百二十二圓四十八錢の巨額にのぼるものである

獻納兵器中特殊のものでは航空救急車、[illegible]、自動呼吸器、酸素呼吸器、國民防空[illegible]、スケート、國防館、防國展覽會の[illegible]、大規模等であるが、特に今年は國防的獻納品の增加してゐる事が目立つてゐる

さて、滿洲事變や上海事變で國內等しく戰時氣分に沸き立つてゐた頃は納豆賣りの幼い銃後の花や夕刊賣りのけなげな少年などが、美しい愛國の主となつてゐた、又獻納、獻納の聲は國民の感ち旺い祖國愛の發露であつた

そこで今年はどうだつたか各種愛國獻金特に婦人團體の大きな活躍があつたのみで獻納率は事變當時よりは可成低下してゐる、愛國婦人團體がそれ〴〵目新しい方面に愛國運動を掲げ例の變つた「拔毛運動」が豫期以上の效果をあげたといふ「時あたかも一九三五、六年の危機を目睫の間に控へて君ます私達女性は愈々結束を固くして廢物利用的獻金を……」とか「私達女性は銃後警備に際してもお國の運命を負ふ念願から拔け毛する毛の一筋に至るまで集めて……」といつた檄文を飛ばしてこれは今では全國的運動とまでに進んでゐる從つて拔毛による獻納金も莫大に達しようといふ、新潟の女學校で櫻野みちさんといふ老婆が今年の一月一日から節足の上旬まで三十六夜缺かさず拾ひ集めた煙草の銀紙（七貫三百匁）を獻納して銀紙婆さんの異名を奉られたのも當世愛國風景の一コマであらう、今年の獻納運動を眺つてここにわれわれが注目すべきものは大阪に日本最初の「防空學校」が設置される計畫のあることだ、これは一般に公表されて居ないが、日本電氣[illegible]所屬百十餘工場の從業員四萬七千人が三年前から積立てた二萬五千圓を第四師團經理部に寄託、大阪市郊外に完全に防空設置をした理想的防空校舍を築き、凡ゆる防空科學を教授させるもので本年早々誕生を見るものである、何しろ防空學校はナチス・ドイツだけにあるもので今後大きな役割を演ずることは實際だ

身の上相談

相談事はなく家庭に關る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛御申込下さい 氏名や面會は御斷りします

去就に迷ふ

私は十八歳になる者ですが、郷里に歸郷してゐましたところ不況の爲辭任しました、それから主人は會社の方をやり私も同所でやらせてもらつてゐるのですけれども私に手傳はせる[illegible]の用事が[illegible]毎日夕の[illegible]、時々の[illegible]で一月に[illegible]ると[illegible]ありません[illegible]下さいます[illegible]はつきりせず[illegible]不安でもあり[illegible]かはるべきでせうか

主人によく相談

それでまじめに勤めてくれたので[illegible]したからといつて直ぐ出すつもりはない、何とかめどのつく[illegible]をそつてあげようといふのでしたら[illegible]に[illegible]へてまでではなく早く他に[illegible]を[illegible]ですが、何とも[illegible]申しかねるならさう[illegible]はれません、或は今御家を計畫されてゐて毎日實君に聞いてもらふおつもりかも知れません、然しどの道さういふことは遠慮のいらぬ事ですから御主人の御意見をとくと伺つてみて身の振方をおきめなさい

妻を虐待する

私の親戚に高女出のAといふ者がありまして、三年前Bといふ男と結婚しました、Aの家はお金持でB家も相當な財産家ですところが此の結婚はB家がA家の資金と結んだに過ぎないことが後からはつきりわかりました Aが持參した現金一千圓と資金數萬五六百圓は結婚後一ヶ月位でB父子の事業資金にといつて取上げられました、A家には母名義の店が三軒あつてB家では夫婦は必ず店につけて呉れるものと思つてゐましたが母親が外れたので今度は虐待を始めました、妊娠中妻も與へず飲料を呼んで配り殺さうとまでしましたのでAは實家に保護を願ひ出た事さへあります、けれどもB其の父母の態度は少しも改まらず妊娠中なども見向きもしない有様で矢張りAの母が見かねて店をくれることを望むやうでしたが、Aは嫁へかね結婚後一年半で里へ歸つてしまひました、すると三月とたたない中にBは餘所者を引入れて同棲してゐます 實は婚約當時Bから「妾を持つた場合、又に離婚する場合は一萬圓の慰藉料を出す」旨の覺書を取つてありますが、この覺書はものをいふでせうか、Aもまだ廿五ですがよい道はありませんか（R・K）

穩かな處理を望む

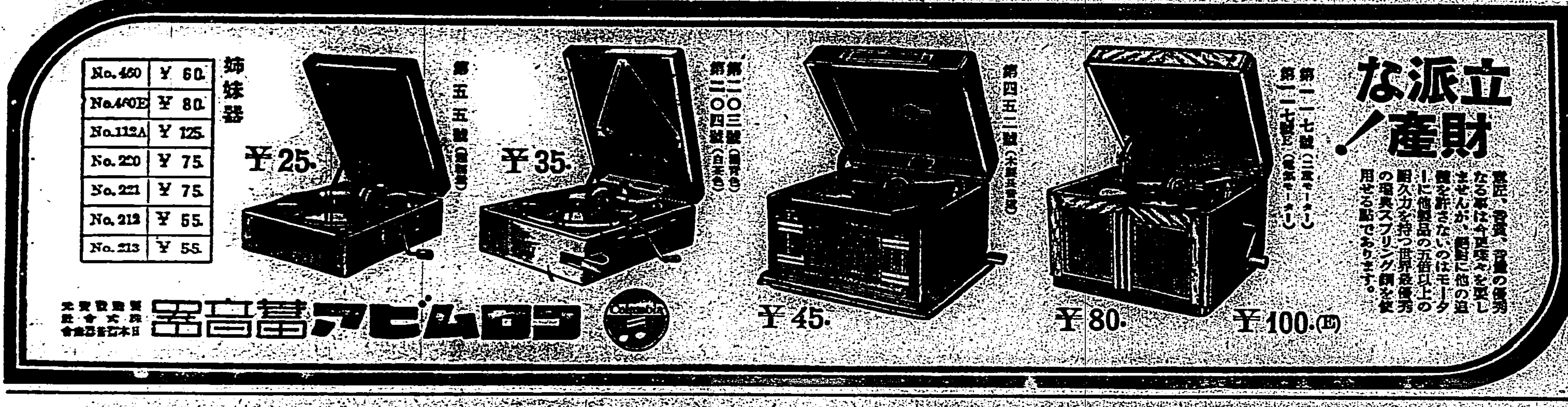
資金と結んだといはれるが、それがわかつてその上ある資金の事なら資金を提供して丸く運んだらよろしい、先方は資金を望み當方は出すのを惜むとすれば離婚を引取る外ない、と言つてしまへばそれ迄だが、兎に角さういふ人道を無視の相手とした事はA方にも不明の點は重々あるものの、不運なことに御氣の毒にたへません 御手紙のやうな事情でしたらAがB家におちつくことは至難で諦めねばなりますまい、法律方面の事は一應專門家に御相談なさるとして、御取交しになつてゐる覺え書がものをいふかどうかにかかはらず此際を明瞭にしておかなければ將來常に暗いかげを伴はなければならぬといふやうな懸念がもきたお若いしその婚家に在子らに事を完立てるのではお互ひによい結果は來ないだらうと思ひます よく考へ合つてなるべくなら確かに處理して因縁をあとに殘さぬ事がよいと思ひます

養家を出てよいか

私は二十歳の時婿養子にまゐつたものですが、妻は他の男と一緒に家を出てしまひました 只今養母とその弟妹三人と暮してゐますが、まことに哀れな狀態でして男二人共會社に勤めてゐますが、給料は勝手に費消してしまひますが母親は何一つやかましく申した事もなく、私が四十五圓取る給料では毎月の生活費が不足で人にも恥かしい程不自由をしてゐます、係累私は毎日考へては泣き考へては泣いてゐます、先の見込など全然ありません、今の中にこの家を出た方がよいでせうか（M・H）

養家を出て更生せよ

家つきの女房は不貞であるがその母親や弟共が可哀さうだからといふ人道愛から、その人たちの犠牲になるといふのなら見上げたことで保もそれをお認めなさいと勸めますが、さうでなく陰鬱な環境に氣の小さい泣き方でめそ〳〵してゐるらしい様子は、意氣地のない話です、そんなのは男子のとるべき道ではありません、斷然養家を出なさい、そして青空を仰いで思切り深い呼吸をして、明らかな更生の首途に就きなさい、子供ぢやあるまいし、もつと勇氣と氣概に燃えて立たなくてはだめですぞ



立派な財產！

第一一七號（二重ゼンマイ） 第一一七號E（電氣ゼンマイ）

意匠、音質、音量の優秀なる事は今更喋々を要しませんが、絶對に他の追隨を許さないのはモーターに他製品の五倍以上の耐久力を持つ世界最優秀の瑞典スプリング鋼を使用せる點であります。

￥100.（円） ￥80.

第四五二號（[illegible]） ￥45.

第二〇三號（[illegible]色） 第二〇四號（白茶色） ￥35.

第五五號（[illegible]） ￥25.

姉妹器

No. 460	￥ 60.
No. 460E	￥ 80.
No. 112A	￥ 125.
No. 220	￥ 75.
No. 221	￥ 75.
No. 212	￥ 55.
No. 213	￥ 55.

コロムビア蓄音器

[illegible] 日本蓄音器商會

巨匠 天光軒滿月

R-3

噫肉彈 荻原四朗原作脚色

父歸る 菊池寛原作

母 全篇 荻原四朗作 伴奏 里見義郎

タイヘイレコード

大日本蓄音器株式會社

ミツワ石鹼

高級植物性油を配合して
芳香は優雅で、泡沫立ち細かく
作用緩和に肌膚を荒すことなき
用ひ心地特に爽かなる

ミツワ石鹼

御婦人や御子達に最適
湯にも水にも程良く溶けて而も
中途に溶崩れる事なき徳用品で
眞に實用向な御贈答用品

本舗東京・兩國 ○丸見屋商店

ミツワ石鹼

基隆港外でまたも外國貨物船が擱坐

前部船底を海底に船尾尻上りに

乘員はそのまま水上署員が警戒

【基隆電話】萬和丸號が沈沒して間もない基隆港外で又も外國貨物船の遭難事故があつた—遭難船はギリシャ國籍山下汽船チャーター大阪商船扱ひにかかるエカトンタラカスドラカス號（五三二九噸）で佛印ホングイより石炭七、五〇〇噸を積み伏木、新潟に向ふ途中ホンガイ[illegible]二十八日午後七時二十分基隆に入港せんと[illegible]港外の[illegible]舵手がわからぬ[illegible]暗礁に坐礁、自力でやうやく離礁したものの前部船底に龜裂を生じ浸水甚だしく[illegible]社寮島と防波堤の中間迄で遂に前部船底が海底に觸れその儘擱坐してしまつたものである、急報により水上署では午後八時過ぎより安武警部補主任以下全署員總動員で警備船雙葉號、ランチ旭號[illegible]を出動させ遭難船を警戒、事情を聽取すると共に萬一の際の乘組員救助に備へさせられたが、幸ひ當時風が止んでゐたので[illegible]乘組員はその儘同船に止めさせてその[illegible]船にのみ止めた、擱坐場所は水深三十餘尺あり、同船は吃水の深き爲船底が海底につき込んでゐても前部はなほ二、三尺を殘して甲板より上は水面上にあり後部は水面高く聳立ちになつてゐる、若しその當時風波がもう少し強ければ如何なる

悲慘事

を惹起したやも計り知れぬ狀態である、今のところ危險の狀態はなく丁度航路の中央にかかつてはゐるものの他の船舶の航行には差支へないが[illegible]作業が手間取つてゐる中に若し風波が強くなる事があれば船體動搖、後部にも浸水、横倒しになつて沈沒する事は明かで、さうなれば水路は大きな障碍物で防がれ基隆港は丁度旅順閉塞と同じ狀態となる譯で一安堵の裡にも萬一の事が氣づかはれてゐる

左舷横ツ腹に大龜裂が出來る

應急修理はとても困難

ギリシャ汽船は二十九日朝ドック會社の潜水夫が搜査の結果左舷二番ハッチ横ツ腹に長さ七呎幅一吋乃至六吋の大龜裂を生じてゐる外[illegible]のスチームは十二呎吃水マークの所より[illegible]に折損しフアピートタンクより浸水してゐることが判明したが船底の損害は未だ明かでない、この横腹の龜裂は暗礁を擦つた爲めに出來たもので豫想以上の損害なるため應急修理も困難の狀態で內地よりサルベージボートの來援を待ち荷役を降した後ち作業をせねばならぬ狀態である船は現在船尾を海水浴場方面に向け船の向が變らぬやう錨を投げて警戒してゐる

天機並びに御機嫌伺ひ

【中川總督から電報】中川總督は湯淺宮內大臣、入江皇太后宮大夫宛に天機並びに御機嫌伺ひの電報を發電した

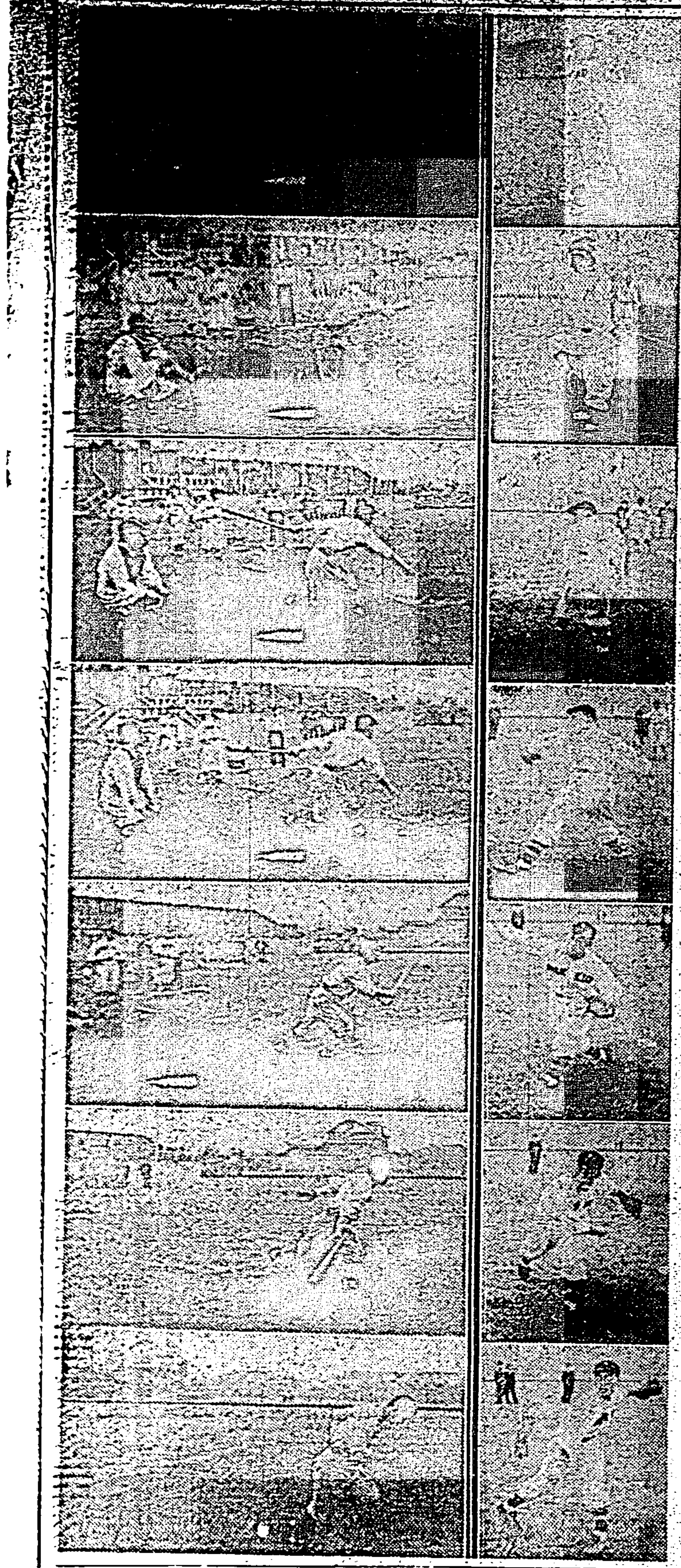
湯淺宮內大臣宛
年末に方り謹みて　天機を伺ひ奉る
右御執奏を請ふ

皇太后宮大夫宛
年末に方り謹みて　皇太后陛下の御機嫌を伺ひ奉る
右御執奏を請ふ

船長、自信あり氣に操舵しての遭難

同船は第三回目の入港

二十九日は幸ひ雨もをさまつたので大阪商船基隆支店の手により船底の狀況調査をなし[illegible]であれば排水作業の後セメントで[illegible]可成大きな穴であれば[illegible]作業にかかる事となるべく同船は兩の次第をロンドンの代理店に[illegible]處置の指揮を仰いでゐるが時期が時期とて浮揚作業はかなりの困難を伴ふものと見られてゐる、同船の基隆入港は之で三回目、港外で水先案內人の來るのを順しく待つて居ればかかる椿事もおこさず濟んだのであるが船長は自信あり氣に[illegible]船をまはすべく操舵したのか暗礁にぶつつける結果となつたもので、右の暗礁は[illegible]よりの光でそれと知れるやうな仕組みになつてゐるのを船長は知らなかつたのである、乘組員はセオドリタス・ユウントラス船長外三一名中日本人二名支那人一名他は全部ギリシャ人で幸ひ一名の死傷者もなかつた、損害は今のところ不明、保險は三十四萬圓の船體保險が附してある



立教選手の練習ぶり（右）鹽田投手の投球動作（左）强打者黑田君の打撃（きのふ圓山球場で寫す）ロボツト・カメラ

凄い當りだ！立教軍が初練習

婦人も交つてファンが見物

遠征第一夜のまどらかな夢から醒めた立教野球部一行は二十九日[illegible]雨にぬれた戶外をながめ「[illegible]おじやんか」と口惜しがつてみたが、どうしても腕の鳴りが[illegible]十時過ぎる頃練習[illegible]のことに一決しいそ〳〵とユニホームに着替へてたうとう圓山球場へ出かけた、久保田部長も同行である、球場に着いてみるとグラウンドは思つた程でもない「サー行からぜ」浦田主將の聲でウオームアップのキャッチボールからトスバッチングを終へそれ〴〵守備位置についてフリーバッティングが始まつた、スタンドには熱心なファンが雨中[illegible]で

見物に

つめかけてゐる、婦人ファンの顏も見える、ピッチングは浦田キャプテン自らだ、當る當る物凄いライナー、砂を蹴散らすグランダーの連發、強打者景浦君快心の一擊は左中間の空に向つてグン〳〵伸びる、勿論オーバーフエンスの大ホームランだ、黑田君がシャープなスキングで手のつけられぬ樣なライナーを連發する、鹽田君、高野君の強打が欄を越える、景浦君が二本目、三本目、四本目を外野席にたたき込む「これや凄い、新聞の[illegible]にホームランは出ないと回答したがしまつたことをした」とスタンドで舌を卷いてゐる、ベンチ前では鹽田、景浦の兩雄をはじめ有村、小山、西郷君らのピッチングスタフがピッチングを始めた、鹽田君の[illegible]は相變らず見事だ、みんなきれいなモーションでスーツと苦もなく速球を投げてゐる、續て鹽田、景浦兩投手のピッチングでレギュラー、遊擊北原君がヤビ〳〵した

快技を

みせると、三壘杉田、一壘浦田兩君が鋭いところでホームランを飛ばして見物をさわがせる、左打者志麻君が盛んに右[illegible]を示す、又しても景浦君がホ[illegible]魔に快打する、部長久保田氏がにこ〳〵し乍ら選手の練習を見守つてゐる、最後に浦田君のノックでフキールデイングが輕く行はれて第一日の練習は約二時間で終つた、浦田主將見事な統制振りである、歸りの自動車の中で浦田君が云つてゐた「まだ何だか身體の調子が鈍たね」と　調子がついたらどん〳〵なだらう、元日に[illegible]試合が見たいものだ、宿舍に歸つた選手は汗を拭いて晝食をとり午後は休養して午後六時から蓬萊閣における本社の招宴に臨んだ

立大同窓會で選手招待會

立教大學同窓會の臺北支部では浦田キャプテンの父君浦田氏と共同主催で來臺の母校野球部久保田部長以下選手一同を二十八日午後五時半から士林の天母溫泉に招待して歡迎の晚餐會を開いた、出席者主客合せて約四十名、校歌エールの合唱などあり賑ましくすき燒きに舌鼓を打つて同八時半頃散會した

蓬萊閣に於ける本社主催の立教選手歡迎會

立教選手を主賓に蓬萊閣で歡迎會

ゆうべ本社が主催

本社では二十九日午後六時から蓬萊閣に立教大學野球選手一行を招待歡迎會を催したが深川文教局長、加藤臺灣體育協會野球部長、速水[illegible]、片山OB、佐々波[illegible]各野球部長はじめ各國選手、臺灣關係者立教校友會員、大會役員の他、本社側からは河村社長、大澤主筆、長谷支配人はじめ關係社員出席、開宴に先だち河村本社社長は

今夕は今回我社が招聘申上げた立教大學野球部御一行が昨日御安着に相成つたのでその歡迎の意をもちまして

此席を

設けた次第であります、更に又此機會におきましてプレーをして頂く各チーム及び御關係の各位を御招き致しましたところ御出席を得まして厚く御禮申上ます、我社が六大學の各チームを御招聘申上げますのは今回で七回に當るのであります、今更如何なるわけでお招き致してゐるかは既に御承知のことと存ずる所でありまして喋々申上ませんが、近來野球界は非常な隆盛を來してゐるのであります、即ち六大學野球の隆盛でありまして過去の學生野球は早慶であつたのでありますが、今や六大學の技倆は伯仲でその年のペナントは何校に行くか豫測が出來ない、即ちそれだけ向上致してゐるのであります、それ故に一段と技術的の向上を望む上から職業團が

各地に

生れんとしてゐる傾向にあるのでありますが、職業野球團には職業野球團の目的があり學生野球には學生野球の使命があります、學生の本領をどこ迄も守り野球技によつて人格的陶冶を致し困苦に堪へ團結心の涵養を致されるにあります、此點立教チームは六大學中、學生らしいチームとして定評があり浦田、古[illegible]井兩君をはじめ印象深き選手を擁されてゐる立教をお迎へしたことを欣快と存ずる次第であります、元旦より行はれまする試合には充分立教精神と學生精神を遺憾なく發揮されんことを信じてゐる次第であります

と歡迎の辭を述べたるに對し久保田立教野球部長は

本夕は立教大學野球部のために斯かる盛大なる歡迎會を

お催し

下されたことを深く感謝し御禮申上げます、而して又臺灣日日新報社の御招きによりまして遠征出來るやうになつたことは思ひがけないことでこれ又深く御禮申上ぐる次第であります、先輩の居るチームと試合をして頂くことが一番ためになることでありまして、先輩の力によつて私共のチームが充實することを得ますことは何よりの幸せと存ずるのであります、何せ[illegible]若い者ばかりで至らぬところは多々御座います故兄が弟を指導するといふ心算で御指導下さるやう御願ひ申上ます

と謝辭を述べ、[illegible]レコードの伴奏裡に歡談、加藤[illegible]野球部長の感想談があつて各國選手はスクラムを組んでエールを高唱[illegible]

立教チームの練習時間

立教チームの今明日の練習時間は三十日が午後零時三十分から二時迄三十一日は午前十時から正午迄である、なほ各チームの練習は左の時間割に依つて行はれることに決定した

三十日
午前十時—正午　臺鐵
午後零時半—二時　立教
二時—三時半　專賣
三時半—五時　OB

三十一日
午前十時—正午　立教
午後零時半—二時　OB
二時—三時半　臺鐵
三時半—五時　專賣

臺北高商野球部が南部遠征

今夏西日本專門學校野球大會において榮ある優勝の譽を獲得しその名を內外にひろめ臺灣野球界のために萬丈の氣を吐いた臺北高商野球部は年始休暇を利し元旦午前九時臺北驛發にて南部遠征の途に上る　主將川口を始め全員燃ゆるが如き熱意を以て必ずやその效果ををさめるであらう、スケジユールは

一月二日一時半對嘉義中學
三日一時半對臺南高工

メンバー左の如し

部長吉成教授　監督荒木彥次郎　マネジャー仲吉　主將川口　投手井上、[illegible]川口　捕手濱田、大石　[illegible]手[illegible]、二壘手中川路、三壘手川口、遊擊增岡、外野手[illegible]水木、植田、中村、[illegible]

CB團對臺北高商野球戰

けふ午後擧行

CB團對臺北高商野球戰は三十日午後一時半から圓山球場において擧行されるが新春早々南部遠征を企圖する臺北高商、對立教戰を目前にするCB團ともにその前哨戰として興味が持たれる、高商は投手井上の好調と[illegible]、植田、[illegible]などの好打で喰下ることと想はれる

西郷ドンの令孫

樺山伯の令孫と臺灣で奇しき對面

きのふ鐵道ホテルで

西郷ドンと第一代臺灣總督樺山さんの令孫同志が奇しくも二十九日鐵道ホテルで握手した——本社招聘の立教大學野球選手に加つて來臺した西郷君は午前九時半樺山さんをホテルに訪問本社中曾根氏の紹介にて互ひに初對面仲よくカメラに納まつて樺山さんは除幕式に赴いたが西郷君は明治の大元勳西郷ドンの令孫に當り立教大學の名投手として知られてゐる、身長五尺八寸體重十七貫七百といふ堂々たる體躯の持主で牛の如き優しい目なざしは上野山の銅像そつくり、樺山さんは五尺そこ〳〵の貴公子然たる物腰、二人は同船して二十八日來臺したのであるが樺山さんが除幕式終了後直ちに歸京するといふのでゆつくり話しも出來ず[illegible]臺灣で二人はしばし懇談、明治七年の征臺の時西郷從道都督の下に樺山第一代總督が參謀として來臺したことは史實の通りであるが從道侯と隆盛ドンとは兄弟の仲とて[illegible]の合縁ではないが二人もこの奇遇を喜び合つた

（寫眞向つて左は樺山丑二氏、右西郷準氏）

本社記者搭乘機と隼號が洋上で交驩

內臺航空第一日に

【福岡二十九日發本社特電】待望の內臺[illegible]粁の空を結ぶ定期航空[illegible]飛行は愈々新春一月臺北太刀洗雙方から開始され臺北から福岡に向ふ本社大竹記者搭乘のかりがね號と福岡を出發した下り便はやぶさ號と八重山列島の上空で擦れ違ひ、洋上にて[illegible]ある新年の交驩をなし日本[illegible]の空に一大エポックを劃する事になつた、[illegible]やぶさ號に[illegible]操縱士[illegible]飛行士、[illegible]機關士、[illegible]通信士が搭乘して福岡太刀洗から發ることとなつた

內臺間の航空郵便料金

二十九日朝刊所報の航空郵便料金記事中、郵便物[illegible]十八錢、葉書九錢五厘とあるは內地料金にして內臺間に於ては十五匁(四匁毎)に三十三錢、葉書十六錢五厘なるにつき右補足する

嘉義の年賀郵便受付

前年よりは減少

【嘉義電話】嘉義市の年賀郵便は昨年末の好景氣に比して反對の傾向を現はし前年よりも二萬五千餘枚を減少するに至つた

通行人を避け損ひバス埤圳に顚落

淡水郡で死傷者を出す

本籍地臺北州文山郡新店庄大坪林字七張二〇二現住所淡水街字布埔頭二八自動車運轉手郭和生（二二）は二十九日午前九時半頃乘合自動車北五五四號を運轉して淡水を發し士林方面に向ふ途中淡水郡三芝庄後厝字大片頭八十一番地先街路に差かかつた時前方に人影を認めたので急ブレーキをかけたが間に合はずアッと云ふ間に前記の男を轢殺しその反動で車體は左側の深さ一丈近い埤圳に顚落大破し乘客十三、四名中數名の重輕傷者を出した、急報により淡水郡警察課より河野司法主任現場に急行取調べの結果被害者の身元は左の通り判明した

即死　淡水街[illegible]字八甲[illegible]
八　吳金[illegible]
治療二週間　七星郡士林街[illegible]　林　新[illegible]
治療二週間　淡水街[illegible]　李　[illegible]
四
同　七星郡士林街[illegible]　曾　紅[illegible]
五八

新竹州下震災地へ蚊帳を配付

【新竹電話】新竹州下震災地のマラリヤは益々猖獗を極め蚊帳を用ひ得ない者の爲め州に於て震災義捐金の內より蚊帳を與へる事となり目下其數を調査中であるが來る一月十一日各郡部衛生課長州に集合具體的打合をなす事となつた

けふの天氣

△臺北地方　東の疾風雲多し
△北部地方　北東の疾風曇後雨
△昨日の最低氣溫　五十八度六分　午後七時[illegible]下降中
（臺北觀測所發表）

いよ〳〵元日開館 國際館
パラマウント映畫　ワーナー・ナショナル映畫　千鳥興行提供歐洲映畫　太秦發聲映畫　東和商事提供歐洲映畫　フオックス映畫　新興マキノ發聲映畫

もも皆々 家中揃つて ヨット鉛筆

元旦封切 突っかけ侍 乾杯學生諸君 開の彌太ッペ 基隆世界館

活劇と諧謔と感激 魔の超特急 銀平くずれ格子 戀の並木路 第三世界館

阿修羅八萬騎 闇に叫ぶ狼 頓馬武勇傳 第二世界館 30錢

妻よ薔薇のやうに 巴里っ子 新世界館

御披露番組 輕快美とスペクタクル 綠の地平線 春の夜の真心 大世界館

三十一日より徹夜 連續三回上映

臺灣初代總督樺山伯
十九日銅像除幕式
參列文武官民凡六百名

前報臺灣官民有志者。建設初代臺灣總督樺山資紀伯銅像除幕式。經二十九日午前十時十分。在府衙正門左側銅像前。盛大舉式。開式詞後。神官修祓。次由故總督令孫樺山丑二氏除幕。乃行獻饌。神官祝詞。次建設委員代表（小濱長官）。井手營繕課長工事報告。次代理代讀式詞。中川總督。柳川軍司令官。和田要港部司令官。野口臺北州知事。河村本社長。相繼述祝詞。次披露首相。陸相拓相其他要人祝電。奉奠玉串。小濱建設委員代表代理。樺山丑二氏。中川總督。柳川軍司令官。和田要港部司令官。文官總代常原臺大總長。武官總代荻洲參謀長。民間總代保田臺銀頭取等。以次奉玉串拜禮。由是撤饌昇神。次故樺山總督遺族總代樺山丑二出敘禮。十一時十分閉式。又是日參拜者。總督以外府內各部局長。軍司令官以外陸海軍幹部。野口州知事。松岡市尹。及府評議員。州協市議員。其他關係者等。約六百名列席。頗呈盛會。

基隆市十一年度豫算
各課要求額甚多
新規之事業不尠

基隆市十一年度豫算。去二十七日夜。就臨時部新規事業。聽取各課長之說明。各課皆要求多額。頗難于查定。然大體如左。▲勸業方面 經常。臨時兩部。要求四十萬圓。就中新規事業。富貴市場改築費二十萬圓。即而于義重町大路。建築爲小鋪。八八門新設小賣市場。及辛賣砂所町市場改築。所要工費八萬圓。大隊市場改築費。珊瑚加工業獎勵。及水產獎勵。皆係小額。▲教育方面 經常部二十萬圓。比去年多三萬圓。臨時部五十萬圓。多三十九萬圓。就中新規事業。公會堂二十萬圓。雙葉小學校講堂四萬圓。浴池二萬五千圓。而少額者。有海水浴之休憩場改築。旭川公學校設置青年教習所。仁濟院增築精神病棟。天神町市營住宅改築。學級增加九學級。幼學舍增築。▲土木方面 十年度繼續事業之道路開鑿擴大。即自綠町經眞砂町之越山道路。及自基隆神社經無線山之橫斷道路。並女學校前擴大。主要道路鋪裝。橋梁架換等。約六十萬圓。▲衛生方面 經常。臨時兩部。約四十萬圓。後市區計畫。墓地要移轉。及改築火葬場。建築塵芥燒却爐。及風土病。傳染病等防遏費。海上衛生處置費入件費等云。

藏相晚餐會席上
開陳憲政常道論
昭和所屬議員感銘

東京二十九日電。高橋藏相于二十八日夜。在藏相官邸。招待望月遞相。町田商相。內田鐵相。及昭和會所屬代議士十三名。開晚餐會。高橋藏相于席上。互二時間餘。開陳年來所主張之憲政常道論。而使昭和會員多大感銘。觀最近世界各國政治傾向。不云獨裁。或一黨專制。不一而足。然介含有多大之危險性。結局最安全之政治形體。在立憲政治。立憲政治即健全之政黨政治也。政黨政治被非難者。乃政黨徒以政權爭奪爲事。未能實現政黨政治。然非斷政黨之罪。查求依政黨政治之國。爲擧國一致之政治也。結成昭和會之諸君。亦望致力于此處。殊如今議會解散與否。未來將行總選舉。其時以此精神。開導國民以吾國民之諸覺。又對政府之明年度豫算。政友會有旅行豫算云々。此因無視英美一邊之豫算形式與我國之相違。而非難者。現如米穀需給調節特別會計。或大藏省預金部資金之各種低資融通等。雖不見于一般豫算面。然爲農村更生。有用國家事業。非不現于豫算面者。殊如余承犬養。齋藤。岡田三內閣。維持一貫財政方針。卽今日余之財政政策。與犬養內閣當時。毫無少變。而政友會攻擊之。余殊不可解。此點希由諸君。一掃國民誤解。增稅問題。一部亦似有議論者。然我國財政之今日。所謂地計之時代。而非建築時代。基礎工事尚未成。而余欲建築。勢至倒壞。余之反對增稅之實行者。由此見地而然也。

臺銀停年制
雇員滿五十五
自新年實施

臺灣銀行。近設行員停年制度。開雇傭員之停年。爲滿五十五歲。外更定二年間之餘裕期間。按自新年起實施之云。

由臺南補助
發動機漁船
本年五隻

臺南州當局。爲振興州下水產事業。並獎勵遠洋漁撈。自本年起樹立三年計畫。對諸小型發動機漁船新造者。交與補助金。本年分之補助五隻。中二隻已自十一月畫成進水。本月二十七日。再成兩隻進水。除一隻不日亦將告竣。而既成進水之出漁者。日所獲約十五圓至三十圓。成績尚稱不惡。州今回之獎勵小型發動機漁船者。實鑒於州下之漁業。多以竹筏出海。且慣風浪及季節風。未敢遠征。均在沿岸之近海洋面。不特所獲不多。且難望振興。故欲積極改善以期遠大云。

督府特產課發表
本期產糖額豫想
料爲糖業以來新記錄

總督府特產課。基于二十八日第一回蔗園調查。對本期產糖豫想額。發表如左。

▲新式製糖所 一千六百六十一萬五千三百十三擔（分蜜及耕地白糖）

▲改良及舊式糖廍 三十八萬三千二百七十五擔（赤糖）

總計一千六百九十九萬八千五百八十八擔。比前期實績。增加九十萬一千二百十二擔。更比第一回蔗園調查之產糖豫想。按增加二萬二千四十九擔。則視過最高記錄之昭和七年期一千六百四十八萬四千百六十擔。尤見新記錄云。

外蒙兵射擊
發電抗議

新京二十八日電。滿洲國外交部。以去二十四日。于滿蒙國境。外蒙兵約六十名。不法越境。射擊事件。乃係滿洲國監兵一名戰死。及援助戰鬪日本兵三名負傷事實。更列舉從來越境射擊事件。二十八日以外交部大臣張燕卿氏之名。對外蒙首相。發出長文抗議電報。

自國皇帝
駕臨英京

倫敦二十八日電。英意關係之尖銳化。最近頻傳。據二十八日外報所載。二十七日傚行駕臨當地自耳義皇帝陛下御任務。爲英意關係打開。執斡旋之勞。且御來朝之促進者。因意國一邊之希望。又意國一邊。以同陛下之調停。將英國現行對意制裁之修正。並對意石油輸出禁止明確壓薬。乃待于英府力說。自國皇帝陛下。近將求見英皇帝陛下。關英政府對意強硬政策變改。希望寛和云。

任布哇師長

華盛頓二十八日電。美國陸軍省。對布哇師團長。任命毛熱將軍。

法國內閣
信任投票

巴里二十八日電。法國下院。二十八日夕。舉行拉渴過內閣信任投票結果。僅差二十票。可決（總議席數六一五）由是拉渴過內閣。一時的脫危機。

法國下院
討議和協案

巴里二十八日電。法國下院。以意埃紛爭所關之英法和協試案爲主題。開外交討議。二十八日午後三時散會。

全國大學生運動
由排日轉向反蔣
政府開始武力彈壓

上海二十八日電。國民政府。對執拗學生運動。開始武力彈壓。蓋華北自治反對之學生運動。于北平初勃發後。親俄派巨頭。潛在南京某省政府主席爲中心。將學生運動。轉導于排日赤化。而爲之運動指導。而與某國大使聯絡。得巨額資金。遂與全國各大學。某國大使館。進出爲學生運動裡面工作者。乃最近外蒙與滿洲國々境外蒙一邊積極工作之注意。欲使轉向于中華方面之詭計。因學生運動。由排日而轉爲赤化反蔣運動。故蔣介石以下國民政府首腦部。亦非常狼狽。遂至以武力彈壓。而受某國嚴重監視。

臺灣拓殖會社創立案
長官尚滯京折衝中
中瀨殖產局長歸臺談

內臺航路定期船大和丸。去二十八日午後一時半。入基隆港。載貨二千七百六十七噸。船客三百六十八名。重要者。則和田馬公要港部司令官。中瀨殖產局長。藤山日糖社長。及故樺山總督之令孫樺山丑二氏。本社招聘立教大學野球團一行等。據中瀨局長所談如左。余出席于米穀生產費調查委員會。九年度生產費。經新聞報道之額。然後再由審查會調查。然內地。朝鮮。臺灣等。須要考慮之處。及調查方法統一。亦交換意見。而十年度生產費。來年一月十三日起開會議。各持材料到東京。又臺灣拓殖會社案。經對拓務。大藏兩省。說明原案。力圖通過。平塚長官爲折衝關係。猶滯京中。然案之內容說明。有川村高橋兩事務官擔當之。該會社總資本金三千萬圓。就中一千五百萬圓。爲政府之現物出資。其餘之一千五百萬圓中。二分之一使民間出資云々。

第二次蔗園
由特產課
調查成育狀況

第二回蔗園之調查。由特產課當局。就甘蔗成育狀況。發表如左。本期氣象。七八月間之雨量。多于例年。比入九月。尚續降不已。延至十月頃。蔗之生育。最要者爲夏期之降雨故。氣溫低。曝日之時間亦少。成育狀況。依第一回之調查。已稍佳於例年。昨年十月中旬。及十二月二三日。被大風所襲。本年則十一月中風害。風之速力。最高者二十米。平均十三米。比昨年之風害爲輕。時期遲約一個月。海岸之蔗園有利。一般蔗園。以入冬後。氣候溫暖。全島殆處々抽穗開花。出穗後甘蔗之成熟更惡。其開始壓搾之工場。有爲是而休止者。蔗身一般纖弱。今後要俟天候回復。但十分之成熟。尚難期待。本年步留。應比不得昨年。惟山間海岸原料。有相當增收之望。新式製糖場豫想。按千六十一萬餘擔。示空前之記錄也。

開發東部臺灣富源
計畫大規模移民村
先調查適地收容人員數

爲開發東臺灣富源。而確立產業百年大計。花蓮港廳。及臺東廳。執同一步調。以本年度追加豫算。計上調查費三萬圓。要求于督府當局。由森田花蓮港。藤田臺東兩廳長。出府折衝。督府亦大贊成。僅因財政關係。被削除爲五千圓。爲是應當局之方針。變更多少。以諸計畫中之招致移民。調查土地。爲先決問題。對招致大規模移民之適當土地。收容人員數等。自明年一月起。著手調查。至六月末完了。然後確立本格的移民計畫。計上于十二年度豫算。要求于督府云。

山脚壯團
賞金獻國防

新莊郡下保甲聯合壯丁團。依恒例施行檢閱。而新莊山脚之壯丁團。獲得一等優勝旗。外又受賞金三十圓。因鑑于目下內外情勢。乃將該賞金。獻上爲國防費之一部。去二十七日已提出于郡役所警察課。託爲送上云。

政友會對
議會態度

東京二十九日電。政友會對議會態度。及選舉委員設置問題。竟拖延于明春至休會直前之二十日黨大會。注視黨內外各般情勢。徐集黨議。以期渦全。然目下黨內之大勢。必欲以國體明徵問題。彈劾內閣之明徵派。及與明徵問題不可供爲政爭之具之反明徵派。一旦出對立休憩。加之對選舉委員問題。因鈴木總裁健康問題。遂過總裁代行機關問題之難關。由是誘發黨內勢力抗爭端緒。遂于決定直前。不得已而至無期延期。而此解決。雖免有相當紛糾情勢。一面有不少被政府方面誘惑者。黨內極爲複雜微妙。此間首腦部。必明示在野黨之威力。提出不信任案與政府決戰。具有此強硬意見。有准不信任案目標由選舉對策。及集黨議而言。以國體明徵爲骨子。而加入政策。總括的不信任案。以此意見。努力于黨內與論之統一。然首腦部之意見。總括的不信任案。果能傾集與否。即能然最近政府方面。非觀此之。于何時提出。未可豫斷後之事態推移。以明徵問題。爲議會解散理由。爲避此總選舉標題。于再開前。處置一木樞府議長及金森法制局長官之進退問題。而使本問題解消。此若實現。則黨內明徵派自然失其攻擊目標。贊成總括的不信任案。間雖有多少紆余曲折。而黨議料可說妥云。

無腔笛

▲臺灣風土氣候。適於蘭蕙。故其所產極夥。殊如拜歲中之變種。即葉有縞線者。特見重於內地人養蘭家。然而最近如觀音大屯一帶。乃至文山郡下山間。被人採取殆盡。現市上所賣者。多來自苗栗郡下。及蘇澳郡下南澳方面。遠則由花蓮港廳下配到。本年白花拜歲。異常騰貴。每芽須二圓以上。獨占之上市亦少。爲例年々末市上。所不曾見之殺風景也。

▲支那印材之產出。以田黃最占高位。其價至與黃金等。大者過之。最近臺北市內諸內地人骨董家。對於某製糖會社某印材收藏家品。競爭入札之際。見某巨材。黝然黑色。頑而且巨。所有入札之人。十中八九。僅書三圓五圓。多者不上十圓。獨有某老於斯道者。摩挲觀移時。奮然書八十圓。卒落於其手。開票之際。在座之人。咸爲歎異。因問於老於斯道者。究竟何材。值君八十圓入札。某但微笑。告以世無卞和。安知美玉。其後某落札之人。乃雇工治材。則赫々金光燦爛之田黃大塊。遂由巨材中。截取大小印材四角者二對。大者以四百金。售于林熊光氏。其較小者。則以三百五十金。售于荒井賢治氏。而所餘之零星散材。亦售金百數十圓。獲利十倍有奇。爲最近斯界中之美談云。

本社聘立教野球團一行
午前練習晚臨招宴
元日在圓山開始比賽

既報本社招聘立教大學野球團。去二十八日大和丸抵臺。午後三時列車。安抵臺北驛。受校友。臨協役員。河村本社長。大澤主筆。長谷支配人外社員多數出迎。乃驅自動車。參拜臺灣神社。訪問中川總督于官邸。在應接室。由久保田部長鄭重紋禮。總督祝一行元氣旺盛。乃在庭園撮影記念。次訪問長官々邸。及本社。投宿吾妻旅館。翌二十九日午前十時。至正午。在圓山球場。開始練習。晚臨本社主開歡迎會。三十、三十一兩日。再在圓山球場練習。來元旦午後一時半。在圓山球場。與鐵團。正式比賽。來二日同一時半。與CB團比賽。初三日同時刻。與專賣團比賽。四日夜行車赴臺南市云。

祝退營榮歸

基隆郡金山庄長盧田俊氏長男俊男君。昭和九年十二月一日。入營于福知山步兵第二十聯隊。受派遣新京。最近終滿退營。本月二十日午後一時。受官民有志及公學校兒童迎接。歸抵金山。金山庄民有志。爲俊男君於去二十七日午後一時起。在金山庄公會堂。大開祝賀會。定刻發起人代表陳助役。述祝辭後。俊男君述謝。外有山本校長祝辭。午後二時半。盛況裡散會。

宜蘭街協
創設月例會

宜蘭街役場。者番山樋口街長。爲發起人。唱設月例會。去二十六日午后一時起。在宜蘭街公館樓上。招集街協議會員二十名中出席者十五名。來賓[illegible]

老臣顯官
賜宮殿用杖

東京二十九日電。九重于昭和十一年新春。恒例對老臣有優遇恩旨。即對九十歲。八十歲。七十歲又武顯官。華族。差許宮中杖。並準老齡下賜天盃。明春浴此恩命諸人中。福府門問官阪本釤之助氏。海軍大將瓜生外吉男。皆達八十歲。特賜宮中杖。許于宮殿用杖。

被牛車壓斃田中
竹塘公學校邊慘事

臺中州北斗郡二林庄萬合六十四番地。江助。農夫。長男江爐漢。年二十七。去二十八日。午前四時頃。滿載以洋袋入甘蔗十三袋。於自己牛車。由自宅出發。欲到郡下竹塘庄竹塘販賣。因本人在車上睡眠。至離竹塘庄竹塘公學校北方約三町道路上。車之前輪一輪。忽陷入於深約尺餘田中。爐漢始醒。以竹捧。欲吊起車輪。其時車上甘蔗墜落。爐漢被車體及甘蔗所壓。至於絕命。六時頃始被通行人發見。急報於所轄竹塘警所。接報石橋巡查部長。藤原、余兩巡查。偕許學習醫師同到現場檢案。認非他殺。即將屍體交與其家人領回埋葬。聞者傷之。

苗栗郡復興
建築家屋
出願五十八件

新竹州苗栗郡下。自震災以後。復興事業。著々進行中。而苗栗街。公館。銅鑼。三叉二庄。已見實施臺灣家庭建築規則。自七月一日至本月二十四日。出願建築家屋者。有五十八件。此工費十萬六千九百五十三圓六十九錢。又已與工者三十七件。工費八萬三千三百一圓四十一錢。而四街庄中。假建築家屋。有二百八十九戶。工費五萬八百十七圓二十三錢。

上田判官赴任前夜
以西洋剃刀自傷左手
齋藤高等法院長發表

齋藤高等法院長。去二十八日午後。以談話形式。發表如左。

上田判官。自本年十月頃。罹不眠症。極度神經衰弱。在十一月初。凡一月間。滯在臺北靜養。至十二月初歸任。同十七日命轉補于高等法院覆審部判官。再來受同僚等送別。復見執務。至去二十六日夜。招醫師注射催眠藥後就眠。至午前一時頃。家人聞聲起床。上田氏已在便所內。用西洋剃刀。傷左手首。家族大驚。急招高雄醫院長外一名。應急治療。其後經過良好云。

臺南州橋梁
設計告終
按來春入札

臺南州土木課本年度豫算中之河川及橋梁工事。業已設計告終。近將付諸包辦票簽。其工事材料部分。定一月四日期。在州會計課行之。而河川工事之朴子溪。朴子護岸水制災害復舊工事。八掌溪下潭堤防護岸。急水溪北門地先護岸。及設溪查頭港地先護岸水制。八掌溪溪洲築地先之制水護岸諸工事。自二十九日起三日間。赴現場說明。一月七日票簽。又橋梁工事之新化玉井道山見橋。及劍陳橋。新市新化道新市橋諸災害復舊工事。定一月八日現場說明。十一日票簽云。

言之醜也
惡繼父送檢察

新營郡白河庄甕窯湖人某婦。年四十五。自十三年前。招夫名黃天財。年三十九。去年十二月。與婦之前夫所生之女。結醜關係。月十四日夜。產下男兒。恐被世間恥笑。即將該幼兒遺棄于同所五台輪。候可一日間。無人收拾。乃更抱歸。中途突萌殺意。乃以手握其鼻。窒殺之。事入警官之耳。月二十五日被嗣田郭財寶兩巡查。檢舉取調。結果一一自認。月二十八日。由郭巡查押送于檢察局。待辦云。

傷害及教唆案
求刑懲役

臺北市港町四丁目二李延修。年四十二。同所陳淼錢。年三十二。同町四丁目二七鄭金錢。年三十七。三人所關傷害及傷害教唆事件。去二十七日。於臺北地方法院刑事單獨部。由山本裁判長主審。開廷公判。該犯罪事實。爲被告李延修。自客年五月。借李文川之名義。經營日隆茶行。每月以三十圓爲報酬。而文川尚不知足。更欲強迫延修。分與以茶行利益。而茶行使用人陳淼錢。見文川之執拗無理。頗爲憤慨。促延修加害文川。去十一月二十九日夜。邀陳掃利及鄭劉阿河。三人偕往。持棍棒。往劉文川。使負重傷。此事實審理完了後。由烏飼檢察官。對三犯求刑。即延修懲役八個月。陳鄭各年半。終由安保、林見兩辯護士。起爲有利辯論。判決言渡。爲翌二十八日云。

果物苗木殺到
基植物檢查
人員不足

基隆植物檢查所。每日貨物。平均可百捆。手貨物五六十捆。此外由歸自內地之船客。所持到之柑橘類。約萬二三千個。爲是人員不足之檢查員等。要徹夜爲之檢查。皆忙個不了。先是該所之檢查員人數有九。後以柑橘盛出。被新竹。員林。奪去二名。其後雖由植物檢查協會派遣役員九名。及職員五名來援。然尚感滯貨之腐敗。近更由該協會外川會長等。到殖產局陳情。再獲二名之增派。始得稍告蘇生云。

關府立水產講習所
高雄代表赴北請設
直接陳情於督府當局

高雄水產講習所設置期成促進會。經對督府要路。拍請願電報後。再由實行委員十五名。協議具體策。日前州協議會。亦滿場一致。對督府當局。提出陳情書。爲是同促進會。再講第二番運動方法。去二十七日。由實行委員携帶歎願書。訪問內海知事。提出歎願書。託其轉送于督府。並懇知事盡力。又實行委員五名。二十九日午前五時半列車赴臺北。遍訪督府關係當局。陳情設于高雄云。

埔　里

之惋惜。現經結束。提出陳情書於當道云。

聖降誕祭 埔里日曜學校。主催耶穌聖誕祝賀會。去二十六日。午后六時半。開於青年會館。唱歌跳舞。對話。及演兒童劇。等凡三十餘種。十一時盛況裡閉會。

小賣競技 埔里酒煙草小賣人組合。主催自去二十日起。開店舖陳列裝飾技術競技。各小賣人。莫不極力裝飾。月二十七日午前九時。在當組合事務所。受關係者立會。由審查員開票結果如左。店舖陳列裝技入賞者 特等賞陳進春。一等賞謝其昌。二等賞黃進發。謝旺。三等賞林崑山。劉阿河。陳氏勉。李金盆。王乞食。卓阿來 審查員 黨正解者 一等賞許阿春。二等賞葉牛。三等賞張垂芳。四等賞劉發。五等省略。

詩　壇

乙亥歲晚　廖寒松

荏苒乾坤歲又闌。流光如矢去難還。生涯依舊紅羊劫。客久愁添綠鬢斑。一事無成仍白手。百年何處不青山。[illegible]皆成幻。博得殘軀任放頑。

烽火灰餘運厄犯。年來事々反相期。功名苦花那邪幻。心血難隨粟祿移。詩句怕從塵劫見。酒杯强作笑顏持。春歸漫道將重到。半補亡羊後已遲。

背井離鄉計已除。故山猿鶴舊情疎。師恩浩々勞垂念。友誼般々辱寄書。奔走風塵成底事。磨殘歲月竟何如。倦飛不是知歸鳥。戢翼新巢又卜居。

滄江歲晚客淹留。沽酒銷愁愁更愁。滿目瘡痍難敎樂。萬方凋敝怕登樓。人因衣錦還鄉計。雁爲稻粱尚遠遊。蓬島欲歸々未得。雲煙遙隔水濱洲。

宜　蘭

鄉軍行事 宜蘭帝國在鄉軍人會。訂于來一月一日午前九時半。在宜蘭街小公校門堂。集合拜御眞影。及奉勅諭式。午前十時分。宏開春酒祝宴。

開歡迎會 宜蘭體育俱樂部。爲該俱樂部員。李新當選宜蘭郡下街庄協議會員八名。並新任街助役楊德旺氏等。于去二十八日午后四時起。在宜蘭街[illegible]合資會社。開歡迎會。主賓街庄協議會員[illegible]名。是日參加者四十餘名。[illegible]委員代表陳[illegible]氏。述歡迎辭。[illegible]散會。

員　林

街協懇談 員林街。月二十八日午後七時起。在街役場會議室。開協議會員懇談會。就來年度歲入歲出豫算。並新規事業其他等。種々懇談。十時頃閉會。

開役員會 員林菲菜業組合。月二十八日午後三時起。在員林街元泰樓。開第五回役員會。出席者正、副組合長。理事。評議員等凡二十餘名。監督官廳有青山。梅野兩部長等。協議就豫算案等。細多少修正。至四時十五分。[illegible]解散。

南　投

舉封印式 南投郡及一街三庄。公官署。去二十八日午前十時。一齊在廳舍。舉封印式。按明春四日開封式。

結束挽留 臺中市南投郡庶務課。陳永順君。近轉勤二水。受該區各[illegible]

全島聯吟大會

人　海

左 鄭坤五　右 國校謝鐵選

右七 賽五

捲起波瀾幾萬尋。時高時下浪還深。個中多少垂釣子。去路憑誰賜指針。

左八右十二 黃文虎

沼々與世共浮沈。[illegible]宗來至心。堪嘆思潮常日下。揚帆難覓幾知音。

右八 國楨

世上風波自古今。不分貴賤共浮沈。東西畫是迷津路。愁叡難塡一樣深。

左九 龔子宜

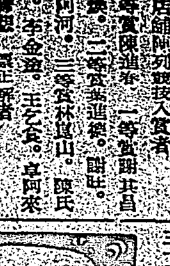
萍跡年來不自禁。過江有御感同深。滄桑幻後紅羊劫。板蕩乾坤嘆陸沈。

右九 黃振芳

紛々擾々少知音。一漫效成連此操琴。無際死々誰是若。有蜃第一是黃金。

人　事

▲草屯信組信用部長林[illegible]之愛子維寶君。此回婚約。南投街協[illegible]氏長女[illegible]定三十一日迎娶。午後五時開披露宴。招待[illegible]云。▲宜蘭街[illegible]協會[illegible]氏之母陳資氏。去二十日去世。享壽五十有九。三十日出殯。



偵探案（四三）

新式科學的搜查（四）
捕盜被洗澄（二）

大阪道修町藥種商林立。皆相當資本。其所製藥品。[illegible]別以堅牢倉屋分貯。[illegible]

[illegible]必分之爲三分。自食一分。[illegible]大各得一分。[illegible]則牝者隨主人眠。[illegible]不敢眠。人知其如此。[illegible]